

令和8年度東浦町当初予算
事業紹介

令和8年第1回東浦町議会定例会

令和8年2月27日提出

目 次

	ページ
事業紹介	
デジタル社会実現に向けた取組みを強力に推進します	6
「災害時にも安全・安心なまちへ」防災対策を推進します	7
複雑な地域生活課題に対する支援体制や環境を整備します	8
高齢者がいきいきと地域で暮らせるまちづくりを進めます	9
生涯を通じた学習機会を得られる環境をつくります	10
アジア競技大会・アジアパラ競技大会を盛り上げます	11
子どもの成長を重視した取組みを推進します	12
切れ目のない一貫した子育て支援の充実を図ります	13
環境を守る取組みを推進します	14
東浦町の魅力を町内外に発信します	15
交付金を活用して物価高騰対応支援を実施します	16
2025年度に作成又は改定した計画等実行のための予算	18
（参考）2026年度に作成又は改定を予定している計画等	21
1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり	
人が結びつくきっかけを作ります	23
(新) 共助版ライドシェア「ウラ・うらら」の実現を目指します	24
第3次東浦町地域福祉計画を策定します	25
障がいのある方が安心して地域で暮らせる環境を整えます	26
(新) 医療DXの推進に伴う環境整備を行います	27
ひとり親家庭等児童受験料給付事業を拡充します	28
(新) 保護者が希望する子育てを支援します	29
産後の不安を軽減するため産後ケア事業を拡充します	30
(新) 5歳児健診にて健やかな成長・発達を促します	31

(新) 胃内視鏡検査により胃がんの早期発見を目指します	・ ・ ・ ・ ・	32
(新) 生活習慣の見直しをサポートします	・ ・ ・ ・ ・	33
(新) 生まれてくるお子さんをRSウイルスから守ります	・ ・ ・ ・ ・	34
がん患者の就労及び社会参加を支援します	・ ・ ・ ・ ・	35
2 人を育み、人を活かすまちづくり		
中高生×地方創生を進めます	・ ・ ・ ・ ・	36
ふれあいセンターの空調を整備します	・ ・ ・ ・ ・	37
文化芸術に触れる機会を増やします	・ ・ ・ ・ ・	38
3つのまつりで東浦町を盛り上げます	・ ・ ・ ・ ・	39
子どもたちが東浦町産の農畜産物を味わう機会を増やします	・ ・ ・ ・ ・	40
学校施設・備品を整備して快適な教育環境を保ちます	・ ・ ・ ・ ・	41
教育現場の支援体制を拡充します	・ ・ ・ ・ ・	42
地域と学校が連携した子どもの学び支援を拡充します	・ ・ ・ ・ ・	43
学生ボランティア(SP)事業により学習支援を充実させます	・ ・ ・ ・ ・	44
子育て世帯の負担軽減のため学校給食費の補助を拡大します	・ ・ ・ ・ ・	45
タブレットを活用して個別最適化された学びを進めます	・ ・ ・ ・ ・	46
発達性ディスレクシアに関する理解を深めます	・ ・ ・ ・ ・	47
ひがしうら地域クラブの更なる充実を進めます	・ ・ ・ ・ ・	48
若者の海外挑戦のための費用を補助します	・ ・ ・ ・ ・	49
県立東浦高等学校の魅力を高める支援をします	・ ・ ・ ・ ・	50
(新) 子育て世帯の居場所づくりを推進します	・ ・ ・ ・ ・	51
保育園給食の充実を図ります	・ ・ ・ ・ ・	52
保育園の施設整備を進めます	・ ・ ・ ・ ・	53
(新) こども誰でも通園制度を開始します	・ ・ ・ ・ ・	54

保育園の手ぶら登園を拡充します	55
(新) 町内に保育所等を開設する民間事業者を支援します	56
於大の方生誕500年を盛り上げます	57
於大のみちと調和した郷土資料館になります	58
於大のみちを再整備して魅力ある散策路を目指します	59
3 暮らしを守るまちづくり		
(新) 要配慮者が社会福祉施設に直接避難できるようにします	60
消防団分団詰所を改修します	61
資源ごみの回収拠点を増やします	62
持続可能な循環型社会構築を推進します	63
(新) ZEH住宅への補助をスタートします	64
住民の生命と財産をまもる雨水施設を管理します	65
4 生活・産業を支える基盤づくり		
「まち」の魅力を紹介していきます	66
(新) 生活応援クーポン券を配付します	67
(新) 新技術導入や機械化に取り組む農業者を支援します	68
(新) 農地利用の最適化活動を加速させます	69
オーガニック農業など自然環境に配慮した農業を推進します	70
町のにぎわい創出につながるイベントを応援します	71
都市計画の立案等に役立てる調査を実施します	72
快適で良好な市街地形成を図ります	73
名古屋三河道路が紡ぐ、魅力あふれるまちづくりを推進します	74
日常生活に必要な移動サービスを「う・ら・ら」で提供します	75

より魅力的でにぎわいのある於大公園に生まれ変わります	76
耐震性が不十分な住宅への支援を拡充します	77
空き家の増加を抑えます	78
まちのランドデザインとなる都市計画道路を作ります	79
道を広げて緊急車両が円滑に通行できるようにします	81
暮らしに寄り添う、安全で快適な生活道路を作ります	82
農業用施設を補修します	84
ため池の機能を守ります	85
農業用排水機場の機能を維持します	86
安全な水を未来へつなぐ、水道施設を管理します	87
(新) 近隣市町と共同で污水管の点検をおこないます	88
清潔・快適なまちを支える下水道(汚水)施設を管理します	89
5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり	
森岡地区拠点施設整備の基本計画を策定します	90
東浦中学校・東浦文化広場整備の基本計画を策定します	91
ふるさと納税による支援の呼びかけを強化します	92
電力確保で災害時の安全・安心を確保します	93
各種証明書のコンビニ交付がスタートします	94
マイナンバーカードを交付・更新します	95
(新) 預貯金照会業務をオンライン化します	96
路線価の見直し等により適正な賦課を行います	97
地域のみなさんと気軽に話し合える場をつくります	98
住民とアジア地域の方との交流を行います	99
(新) キャッシュレス決済を導入します	100
※ (新) の表記があるものは、新規事業です。	

デジタル社会実現に向けた取組みを強力に推進します

とりまとめ DX 課
115,271 千円

東浦町 DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進基本方針の考え方（3つの視点）に基づき、デジタル社会実現に向けた取組みを推進します。

【DX 推進の考え方（3つの視点）】

- 1 住民サービスの向上
- 2 行政事務の効率化
- 3 住民の情報享受

1 住民サービスの向上 80,168千円

- ▶ 小中学校タブレット端末更新関係事業 P46 74,448 千円
- ▶ 施設予約システムの更新 3,850 千円
- ▶ キャッシュレス決済の導入 **新規** P100 1,870 千円

2 行政事務の効率化 32,397 千円

- ▶ 基幹システムの標準化・共通化対応 23,147 千円
- ▶ 医療 DX 推進事業（福祉医療） **新規** P27 8,052 千円
- ▶ 空間計測ツールの導入 **新規** 1,198 千円

3 住民の情報享受 2,706 千円

- ▶ 町公式 LINE 運用業務 1,716 千円
- ▶ ビックデータ分析ツールの導入 990 千円

「災害時にも安全・安心なまちへ」防災対策を推進します

とりまとめ 防災課

195,016 千円

南海トラフ地震の発生やゲリラ豪雨などによる自然災害が危惧されるなか、「災害時にも安全・安心なまちへ」を推進するため、防災対策に取り組みます。

1 防災組織体制の強化	2,500 千円
▶ 自主防災会の自立や活性化を図ることを目的として、各自主防災会が行う防災訓練や備品購入に係る費用を補助します。 自主防災活動費補助金	2,500 千円
2 要配慮者対策の充実	5,323 千円
▶ 個別避難計画作成のコーディネート及び作成された計画内容の確認・管理を行います。 個別避難計画作成コーディネート業務委託料	5,323 千円
3 各家庭における備えの強化	34,996 千円
▶ 木造住宅の無料耐震診断の他、耐震改修工事などに係る費用を補助します。 改修補強設計費補助、木造住宅耐震改修費補助金など 拡大 P77	13,986 千円
▶ 住宅用地球温暖化対策機器設置及び次世代自動車購入に係る費用を補助します。 定置用リチウムイオン蓄電システム設置、次世代自動車購入費の補助金など 拡大 P64	21,010 千円
4 災害備蓄品などの充実	31,218 千円
▶ 災害時に必要となる資機材の購入や食糧・飲料水等の備蓄を進めます。 ・ 避難所資機材等の購入、食糧等備蓄品の購入 拡大 P60	17,434 千円
・ トイレカー(ユニバーサルタイプ)の導入	9,496 千円
・ 給食配送車に FCトラックを導入(災害時には非常用電源として活用)	4,288 千円
5 その他防災・減災対策の推進	120,979 千円
▶ 建物の建て替え等の際に道路用地を確保するとともに整備を実施します。 ・ 道路用地先行取得事業 P81	97,861 千円
・ 浸水深表示等整備業務	1,691 千円
・ 電柱浸水想定区域看板整備業務	511 千円
▶ その他防災事業費	20,916 千円

複雑な地域生活課題に対する支援体制や環境を整備します

とりまとめ ふくし課

102,678 千円

住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を実施します。

1 包括的相談支援の推進	67,502 千円
▶ 障害者・障害児の相談を支える仕組みづくり(相談支援事業)	26,400 千円
障害者や障害児からの相談に応じるため、基幹相談支援センターに専門的職員を配置し、地域の相談支援体制の強化を図ります。	
▶ 子育て家庭と妊産婦を支えるつながりづくり(利用者支援事業)	40,542 千円
子育て家庭や妊産婦が必要な支援を円滑に受けられるよう、相談を受け、また、情報提供を行い、関係機関との連携体制を整備します。	
▶ 生活困窮者に寄り添う環境づくり(町村相談事業)	560 千円
生活困窮者やその家族からの相談に応じ、情報提供や支援機関との連携、自立相談支援事業へのつなぎを行います。	
2 地域づくり施策の推進	27,586 千円
▶ 乳幼児と保護者の交流を育む場づくり(地域子育て支援拠点事業)	27,586 千円
乳幼児やその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行います。	
3 多機関協働事業等の推進	7,590 千円
▶ 複雑な課題を解決へ導く地域支援の仕組みづくり(多機関協働事業)	7,590 千円
コミュニティソーシャルワーカーが困りごとの相談や訪問支援等を行い、関係者と連携して複雑な課題を解決する方法を決め、必要な地域資源につなぎ、継続的な見守りやサポートを行います。	

高齢者がいきいきと地域で暮らせるまちづくりを進めます

とりまとめ ふくし課

1,085,463 千円

高齢者がいきいきと地域で暮らすための様々な施策を実施します。

1 高齢者福祉サービスの充実	898,836千円
▶ 知多北部広域連合負担金	777,825 千円
▶ 高齢者住宅改修費扶助	8,000 千円
▶ 高齢者配食料金扶助	4,804 千円
▶ 要介護者介護手当	10,200 千円
▶ 難聴者補聴器購入費助成事業	1,520 千円
▶ 定期予防接種(B類疾病)事業	94,646 千円
▶ 歯周病疾患検診事業 拡充	1,841 千円

2 介護予防生活支援の推進	96,800 千円
▶ 生活支援体制整備事業	25,800 千円
▶ 福祉拠点普及促進コーディネート事業	6,900 千円
▶ 包括的支援事業及び第1号介護予防支援事業	64,100 千円

3 認知症施策の推進	46,290 千円
▶ 地域福祉相談支援事業	7,590 千円
▶ 社会福祉協議会補助金	38,700 千円

4 高齢者の権利を守る支援の充実	13,536 千円
老人保護措置費	13,536 千円

5 安心・住みよいまちづくりの推進	3,316 千円
▶ 運転免許自主返納支援事業	1,314 千円
▶ 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費補助	246 千円
▶ ごみ出し支援事業	1,456 千円
▶ 耐震シェルター整備費補助	300 千円

6 生きがいづくりと社会参加の促進	26,670 千円
▶ 老人クラブ補助金	4,054 千円
▶ 老人憩の家交流館化事業 新規 P23	11,751 千円
▶ シルバー人材センター補助金	10,865 千円

生涯を通じた学習機会を得られる環境をつくります

とりまとめ 学び支援課

43,325 千円

住民が学びあい、教えあい、生涯を通じた学習機会を得られる環境をつくります。

【概 要】

1 学びはじめよう

- ・講座の開催やイベント開催支援を行い、住民の学びのきっかけをつくります。
- ・学びの情報を発信し、多くの人に学びの場を周知します。

2 学びつづけよう

団体活動を支援し、仲間と交流し、継続して学ぶことができる環境をつくります。

3 学びを活かそう

- ・学んだことを活かし、地域で活躍できる場をつくります。
- ・「ひがしうら於大学」といった住民発信の学びの場を含め、活躍の場へのつなぎ支援を行います。

生涯学習

学びあい、教えあい、生涯を通じて学びを得る

1 学びはじめよう

7,162 千円

▶ 講座の開催 3,897 千円 ・文化センター講座 481 千円 ・資料館講座 658 千円 ・家庭教育講座 175 千円 ・スポーツ教室 288 千円 ・健康増進教室 1,227 千円 ・介護予防教室 1,068 千円	▶ 住民主催講座・イベントの支援 1,000 千円 ・文化芸術イベント開催支援補助金 P38 800 千円 ・マイスタディ・マイプロデュース講座 200 千円 ▶ 体験機会の創出 2,265 千円 ・子ども文化芸術体験支援事業 新規 P38 200 千円 ・スポーツまつり実行委員会負担金 2,065 千円 ▶ 学びに関する情報発信 ・まなびの森ひがしうらを発行 ・広報紙、ホームページ、SNS を活用
--	---

2 学び続けよう

8,112 千円

▶ 団体支援補助金 8,112 千円 ・東浦町文化協会補助金 1,630 千円 ・東浦町スポーツ協会補助金 2,278 千円 ・東浦町スポーツ少年団補助金 150 千円 ・東浦町老人クラブ補助金 4,054 千円 ▶ 活動継続支援 ・施設使用料減免 ・まなびの森ひがしうらを発行
--

3 学びを活かそう

28,051 千円

▶ 住民主催講座・イベントの支援 1,000 千円(再掲) ・文化芸術イベント開催支援補助金 P38 800 千円 ・マイスタディ・マイプロデュース講座 200 千円 ・ボランティア講師登録 ▶ 活躍の場へのつなぎ支援 27,051 千円 ・シルバー人材センター補助金 10,865 千円 ・ボランティアセンター指定管理料 14,719 千円 ・アダプトプログラム 167 千円 ・ボランティア活動支援交付金 1,300 千円

アジア競技大会・アジアパラ競技大会を盛り上げます

とりまとめ 学び支援課
11,793 千円

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を契機として、住民の大会への理解と関心を高めるとともに、国際理解の促進や多様性を尊重し合う共生社会の実現を図ります。

あわせて、子どもたちをはじめとする住民が大会を身近に感じ、地域一体となって大会を盛り上げます。

1 大会の盛り上げ、大会時のおもてなしにつながる事業 3,520千円

▶ アジア各国、地域の人々を巻き込んだ大会の盛り上げ

- ・ 聖火リレーを開催し、大会の周知を図り、住民の関心と機運を高めるとともに、一体感を醸成します。
- ・ 日本語教室や東浦町のイベントでのブース出展、料理教室の開催などの交流イベントを行い、多文化への理解と関心を深めます。
(1,020 千円) P99

▶ 選手や来訪者などに対するおもてなし (2,500 千円)

- ・ 東浦町の「歴史」「文化芸術」「産業」等の魅力を、選手や来訪者等に PR します。
- ・ 選手村や各国レセプション等において、東浦町の特産品を提供します。

2 大会の応援・観戦につながる事業 1,000 千円

▶ 小中学生の応援・観戦につながる事業(1,000 千円)

- ・ 小中学校の給食でアジア各国の料理を提供し、食を通じてアジア各国・地域との交流を推進します。
- ・ 選手・大会関係者との交流など、子どもたちが貴重な体験ができる場をつくれます。
- ・ 東浦町主催の競技観戦の機会を提供します。

3 大会の支援につながる事業 7,273 千円

▶ 東浦町職員の派遣(7,273 千円)

国際的な視点や運営ノウハウを取得する貴重な機会として、大会組織委員会への人材を派遣します。

▶ 資機材の提供

会場設営に必要な資機材を貸与します。

子どもの成長を重視した取組みを推進します

とりまとめ 教育課

522,582 千円

「人を育み、人を生かすまちづくり」を推進するため、教育環境や教育の質の向上などを通じて、子どもの成長を重視した取組みを進めます。

1 確かな学力	3,662千円
アドバイザーの配置など個別化・個性化教育の推進	3,662 千円
2 心と体の健康	32,264千円
▶ 校内教育支援センターの機能強化 拡大 P42	5,808 千円
▶ 児童生徒・教職員のための健康診断の実施	24,908 千円
▶ 総合農政推進事業(給食食材に東浦町産を積極的に活用) 拡大 P40	1,308 千円
▶ いのちを大切にす教育の実施	240 千円
3 魅力ある教育環境	401,773 千円
▶ 中高生×地方創生 新規 P36	199 千円
▶ 学生ボランティア(SP)事業 拡大 P44	6,629 千円
▶ 小中学校タブレット端末更新関係事業 P46	74,448 千円
▶ 小中学校施設整備等事業 P41	58,056 千円
▶ 全小中学校空調設備稼働の燃料費等	33,995 千円
▶ コミュニティ・スクールの充実、地域と学校の連携の推進 拡大 P43	6,677 千円
▶ 要保護、準要保護児童生徒扶助費の給付	33,844 千円
▶ ひがしうら地域クラブの実施 拡大 P48	13,897 千円
▶ アジア大会応援給食の提供	1,000 千円
▶ 学校給食費補助事業 拡大 P45	173,028 千円
▶ 中学校区毎に小学校との連携を進めます(小中連携プログラム)	
▶ 平日授業日の5時間授業を推進します	
▶ 小中学校応援ふるさと納税制度 新規 P92	
ふるさと寄附金を活用し、児童生徒の学習環境の改善や教育活動の多様化を推進	
4 特別支援教育	84,883千円
▶ 発達性ディスレクシアに対する支援体制整備 P47	258 千円
▶ 学校生活支援員の配置 拡大 P42	79,781 千円
▶ 特別支援教育就学奨励費の給付	4,844 千円

切れ目のない一貫した子育て支援の充実を図ります

とりまとめ 子育て支援課
388,284 千円

「切れ目のないこどもまんなか応援サポーターのまち」として、結婚から妊娠、出産、出産後、子育てまで、切れ目のない一貫した子育て支援の充実を図ります。

1 結婚や定住への支援	11,097千円
▶ 結婚新生活支援事業	6,597 千円
新生活のスタートアップに係る費用を助成し、結婚に伴う経済的負担を軽減	
▶ 三世代近居等定住促進事業	4,500 千円
新たに三世代で同居または近居するための住宅取得費用を助成し、定住を促進	
2 妊娠期から切れ目のない支援	344,225千円
▶ 妊婦医療補助事業	2,710 千円
母子手帳の交付を受けた妊婦の医療費を助成	
▶ 妊婦へのRS ウイルスワクチン接種事業 新規 P34	10,727 千円
妊婦へのワクチン接種を推進し、新生児及び乳児の下気道疾病の予防につなげる	
▶ 5歳児健診事業 新規 P31	5,037 千円
子どもの個々の特性に合わせた支援につなげるため、5歳児健診を実施	
▶ こども医療費助成事業	325,636 千円
18歳までの子どもの医療費を助成	
▶ 交流イベント開催 新規 P51	115 千円
子育て世帯が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進	
3 幼児教育・保育の支援	20,101 千円
▶ 多様な子育て応援補助事業 新規 P29	7,200 千円
保護者の多様な選択に応え、希望する子育てが実現できるよう支援	
▶ こども誰でも通園制度事業 新規 P54	3,726 千円
保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満のこどもの保護者が就労状況に関わらず利用できる新たな通園制度の実施	
▶ 手ぶら登園事業 拡充 P55	9,175 千円
東浦町立保育園で使い捨てエプロン、ウェットティッシュを用意し、保護者と保育士の双方の負担を軽減 ※お昼寝布団は、レンタルサービスを導入	
▶ 民間保育所等整備費補助事業 新規 P56	
東浦町内に保育所等を開設する民間事業者に建設費等の一部を補助	
4 学齢期・若者の支援	12,861 千円
▶ 若者の海外挑戦応援事業 P49	10,000 千円
海外留学プログラム等に参加する費用を助成	
▶ 医療的ケア児学校等訪問看護事業	2,861 千円
医療的ケアを必要とする児童・生徒に対して、看護師が学校等を訪問し、医療的ケアを実施	

環境を守る取組みを推進します

とりまとめ 環境課

2,669,401 千円

東浦町の良好な環境を次世代に引き継ぐため、住民・事業者・行政の協働により、様々な環境問題に取り組み、将来に繋いでいきます。

基本目標1

エネルギーを節約し、地球温暖化防止に貢献するまちづくり

1,500,192千円

- ▶ 再生可能エネルギーの活用促進
 - ・住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金
 - ZEH 住宅への補助をスタート **新規** P64
 - ・Jクレジット制度の活用
- ▶ 次世代自動車の普及促進
 - 次世代自動車購入費補助金
- ▶ 公共施設の高効率空調導入
- ▶ 環境に配慮した農業の推進
 - 環境保全型農業直接支払交付金
- ▶ 事業所の事業継続計画の推進
 - 東浦町中小企業活性化補助金
- ▶ 上下水道施設の整備と維持管理
 - 配水設備新設改良等の実施
- ▶ 農業施設の適切な整備
 - 農業用排水機場、ため池の維持管理
 - P85、P86

基本目標2

255,201 千円

自然と生き物を大切にすまちづくり

- ▶ 公園・緑地の整備、公共施設の緑化
- ▶ 農地の保全・活用
- ▶ 東浦自然環境学習の森の管理

基本目標3

886,876 千円

ものを大切にしてごみを出さないまちづくり

- ▶ プラスチック資源循環の促進
- ▶ 事業者協働によるサーキュラーエコノミーの推進
- ▶ 一般廃棄物の適切な収集

基本目標4

12,669千円

みんなで身近な生活環境を守るまちづくり

- ▶ 河川水質、大気汚染、不法投棄など環境状況の監視
- ▶ 地域や事業者との協働による美化活動の促進
- ▶ 生活排水浄化の啓発

基本目標5

14,463 千円

環境をみんなで学び、取り組むまちづくり

- ▶ NPO・ボランティア団体の環境活動支援
- ▶ 環境学習や環境イベントの開催による環境学習機会の提供
- ▶ ユネスコスクールの活動支援

東浦町の魅力を町内外に発信します

とりまとめ 観光交流課
481,340千円

東浦町にある資源をより効果的に町内外にPRすると共に、まちのにぎわいにつながる取組みを進めることで、まちのにぎわい・活性化を図るとともに、地元への誇りや愛着を育みます。

1 観 光

179,146千円

(観光推進事業費 179,146千円)

- ▶ 歴史文化に関するまつりを開催します。 P39
- ▶ 於大のみちの再整備を進めます。
於大のみち再整備事業 P59
- ▶ 他市町と連携しスケールメリットを活かしながら東浦町の魅力を発信します。
 - ・知多半島観光圏協議会負担金
 - ・衣浦定住自立圏観光パンフレット作成負担金
 - ・自治体連携による於大の方生誕500年記念ロゴマーク作成 **新規** P57
- ▶ 東浦町の観光の推進・にぎわいを創出する団体を支援します。
 - ・観光協会補助金
 - ・観光振興事業等支援補助金
 - ・にぎわい創出補助金 P71

2 歴史文化・スポーツ

8,558千円

(文化財保護事業費 1,073千円)

- ▶ 地域に残る文化財を広くPRします。
文化財説明板の修繕
- ▶ 伝統文化の保存継承活動等を支援します。
文化財補助金の交付

(文化芸術活動推進事業費 800千円)

- ▶ 文化芸術イベントの開催を支援します。
文化芸術イベント開催支援補助金 P38

(郷土資料館事業費 4,620千円)

- ▶ 郷土資料館を拠点に、東浦町の歴史や文化財の情報発信を行います。
 - ・企画展の開催
 - ・歴史講座等の開催
 - ▶ ガイドボランティアを育成し、東浦町の魅力を伝えます。
ガイドボランティア養成講座の開催
- (社会体育一般事業費 2,065千円)
- ▶ 誰もがスポーツに親しみ楽しめるまつりを開催します。 P39

3 自然環境・産業

293,636千円

(公園整備事業費 42,000千円)

- ▶ 於大公園のリニューアルを進めます。
バーベキュー広場等の整備 P76

(ふるさと寄附事業費 238,328千円)

- ▶ ふるさと納税を活用した東浦町製品のPR・新規開発 P92

(総合農政推進事業費 1,308千円)

- ▶ 東浦町産の食材を学校給食に積極的に使います。 **拡大** P40
東浦町産給食食材費
- (産業まつり開催事業費 12,000千円)
- ▶ 東浦町内の産業に触れる機会を創出します。 P39

交付金を活用して物価高騰対応支援を実施します

とりまとめ 政策企画部 政策課

東浦町では、国の令和7年度補正予算により、国から交付される交付金を活用して、全住民を対象とした物価高騰対応のための支援を実施します。

全住民を対象とした支援と合わせて、「教育のまち東浦」として子ども・若者への直接の支援や、高齢者の健康を守るための支援を実施することで、「子どもたちの健やかな成長」と「きめ細かな物価高騰対応」を実現します。

実施事業一覧

1 生活応援クーポン券事業 P67 319,939 千円

生活応援クーポン券を配付し、住民の生活支援と町内経済の活性化を図ります。

- ▶ 対象者 2026年4月1日現在で東浦町の住民基本台帳に登録されている方
- ▶ 支援額 1人当たり6,000円分
- ▶ 開始時期 2026年6月～
- ▶ 予算計上 令和7年度予算（繰越）

事業課 地域創造部 商工農政課

2 水道料金の基本料金減免 63,000 千円

水道料金の基本料金を6か月分徴収しないことで、物価高騰の影響を受けた生活者等を支援します。

- ▶ 対象者 東浦町内の水道使用者
- ▶ 支援額 一般的な家庭の場合、1世帯当たり2,574円(水道メーターの口径で異なる。)
- ▶ 開始時期 2026年1月検針分～
- ▶ 予算計上 令和7年度予算（繰越）

事業課 政策企画部 政策課、インフラ整備部 水道サービス課

3 在宅高齢者エアコン設置助成事業 21,677 千円

高齢者のみが暮らす世帯がエアコンの購入・設置に要した費用に対して、補助金を交付することで高齢者の熱中症リスクの軽減を図ります。

- ▶ 対象者 2026年1月1日現在で東浦町の住民基本台帳に登録がある65歳以上の高齢者のみで構成される世帯
- ▶ 支援額 1世帯当たり最大60,000円
- ▶ 開始時期 2026年3月～
- ▶ 予算計上 令和7年度予算（繰越）

事業課 ふくし文化部 ふくし課

4 物価高騰対応子どもの未来応援事業

25,098 千円

子どもの健やかな成長を応援するため、図書カードネットギフトを贈ることで、創造力や知識を広げるうえで重要となる読書活動を支援します。

- ▶ 対象者 2026年1月1日現在で、東浦町の住民基本台帳に登録がある24歳までの住民等（ただし、23歳又は24歳は就学している者に限る。）
- ▶ 支援額 1人当たり2,000円分
- ▶ 開始時期 2026年2月～
- ▶ 予算計上 令和7年度予算（繰越）

事業課 こども未来部 教育課

5 小中学校給食費補助 P45

16,758 千円

東浦町立小中学校の給食の質の確保を図りつつ、保護者の給食費負担を軽減します。

- ▶ 対象者 東浦町立小中学校に通学する児童・生徒の保護者
- ▶ 支援額 小学生1人当たり最大3,160円、中学生1人当たり最大6,040円
- ▶ 開始時期 2026年4月～
- ▶ 予算計上 令和8年度予算

事業課 こども未来部 教育課

6 保育所等給食費軽減対策支援補助金

7,986 千円

民間保育所等における給食の提供に要する食材費の高騰分を支援することで、子どもたちの給食の質の確保を図ります。

- ▶ 対象者 民間保育所等
- ▶ 支援額 7,986千円
- ▶ 開始時期 2025年4月～
- ▶ 予算計上 令和7年度予算

事業課 こども未来部 子育て支援課

※各事業の開始時期は、事業の進捗状況により変更となる場合があります。

2025 年度に作成又は改定した計画等実行のための予算

とりまとめ 政策課

2025 年度中に作成又は改定した計画等を実行するため、令和 8 年度当初予算に、次のとおり予算を計上しました。

東浦町の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策の大綱

【計画等の概要】

教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 1,858,531 千円

うち、新規・拡充事業

- ・小中学校タブレット端末更新関係事業 P46 74,448 千円
- ・発達性ディスレクシアに対する支援体制整備 P47 258 千円
- ・「於大かるた」制作に係る報償金 11 千円
- ・子ども文化芸術体験支援事業 P38 200 千円

東浦中学校・東浦文化広場基本構想

【計画等の概要】

施設整備に向け、施設の基本的な考え方、整備場所（敷地）、導入機能などについて定めたもの

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 20,152 千円

うち、新規・拡充事業

東浦中学校・東浦文化広場基本計画策定支援業務 P91 20,152 千円

森岡地区拠点施設基本構想

【計画等の概要】

施設整備に向け、コンセプト、施設の基本的な考え方、導入機能などについて定めたもの

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 18,579 千円

うち、新規・拡充事業

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画策定支援業務 P90 18,579 千円

東浦町 DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進基本方針

【計画等の概要】

東浦町 DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進基本方針の考え方（3つの視点）に基づき、デジタル社会実現に向けた取組みを推進するための方針

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 115,271 千円

うち、新規・拡充事業

- ・施設予約システムの更新事業 3,850 千円
- ・キャッシュレス決済の導入事業 P100 1,870 千円
- ・空間計測ツールの導入事業 1,198 千円

第3期東浦町いきいき健康プラン 21

【計画等の概要】

健康づくり、食育、母子保健等に関する施策をとりまとめたもの

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 431,906 千円

うち、新規・拡充事業

- ・胃内視鏡検査事業 P32 2,534 千円
- ・特定保健指導の積極的支援事業 P33 1,584 千円
- ・がん患者アピアランスケア支援事業 P35 400 千円

東浦町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画

【計画等の概要】

個別化・個性化教育の質の向上を実現するための基盤として、教職員が健康で意欲をもって職務に専念できる環境を整備することを目的に定めたもの

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 421,097 千円

うち、新規・拡充事業

- ・学校生活支援員等の増員及び勤務時間の増加 P42 91,954 千円
- ・小中学校タブレット端末更新関係事業 P46 74,448 千円
- ・地域と学校の連携の推進等 P43 6,677 千円
- ・ひがしうら地域クラブの実施 P48 13,897 千円

東浦農業振興地域整備計画

【計画等の概要】

農業生産に必要な農用地等の確保及び農業の健全な発展を図るため農用地の利用や保全及び担い手の確保等に関する計画

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 55,997 千円

うち、新規・拡充事業

- ・ 農業委員会委員等報酬 P69 7,392 千円
- ・ 新規就農者経営発展事業補助金 11,000 千円
- ・ 経営体育成支援事業費補助金 6,000 千円
- ・ あいち型産地パワーアップ事業補助金 P68 3,969 千円
- ・ 環境保全型農業直接支払交付金 P70 716 千円

東浦町耐震改修促進計画

【計画等の概要】

地震による住宅・建築物の被害及びこれに起因する人命や財産の損失を未然に防止するための計画

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 13,986 千円

うち、新規・拡充事業

- ・ 民間木造住宅耐震診断委託料 P77 3,300 千円
- ・ 民間非木造住宅耐震診費補助金 P77 136 千円
- ・ 民間木造住宅耐震改修費補助金 P77 6,300 千円
- ・ 木造住宅等解体工事費補助金 P77 2,800 千円
- ・ 民間木造住宅耐震改修設計費補助金 P77 1,000 千円

第2次東浦町空家等対策計画

【計画等の概要】

空家等に関する基本的な対策を総合的かつ計画的に推進するための計画 P78

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 496 千円

東浦町下水道ストックマネジメント計画

【計画等の概要】

下水道施設について、適切な維持管理や更新を行うための計画 P65

【計画実行に係る 2026 年度事業費】 79,871 千円

(参考) 2026 年度に作成又は改定を予定している計画等

とりまとめ 政策課

2026 年度には、次の計画等の作成を予定しています。

第3期東浦町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

【計画等の概要】

まち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画

東浦中学校・東浦文化広場基本計画

【計画等の概要】

東浦中学校・東浦文化広場基本構想に基づく、整備方針、施設の建築計画等の施設整備に関する計画

森岡地区拠点施設基本計画

【計画等の概要】

森岡地区拠点施設基本構想に基づく、整備方針、施設の建築計画等の施設整備に関する計画

東浦町定員管理計画

【計画等の概要】

5年間を計画期間とする定員管理計画を策定し、定員のさらなる適正化及び経営資源の有効活用するための計画

第3次東浦町地域福祉計画

【計画等の概要】

「地域共生社会」の実現に向けた地域福祉を総合的に推進するための計画

東浦町重層的支援体制整備事業実施計画

【計画等の概要】

住民が抱える複雑かつ多様な課題に対して、分野を超えた支援を行うための仕組みを整える計画

第10期東浦町高齢者福祉計画

【計画等の概要】

高齢者が健康でいきいきと安心して地域で生活できるための高齢者福祉施策に関する計画

東浦町障がい者いきいきライフプラン

(第5期障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画)

【計画等の概要】

障害者・障害児が地域で自立した生活ができるための計画

第3期東浦町国民健康保険データヘルス計画（中間評価・見直し）

【計画等の概要】

被保険者の健康増進を目的に効果的・効率的な保健事業を実施するための計画

東浦町新型インフルエンザ等対策行動計画

【計画等の概要】

新型インフルエンザを含めた幅広い感染症による危機に対応できるようにするための計画

第3次東浦町男女共同参画プラン（中間評価・見直し）

【計画等の概要】

家庭や地域社会などにおける男女共同参画を進める計画

第3次東浦町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

【計画等の概要】

事務・事業において温室効果ガス排出量の削減を図るための計画

人が結びつくきっかけを作ります

ふくし文化部 ふくし課
学び支援課

地域創造部 住民自治課

315 千円

(前年度当初予算額) 104 千円

【目的】

子どもから高齢者まであらゆる世代の住民が交流を図り、結びつくことで、地域課題の解決につなげ、地域共生社会の実現を目指します。商工業関係の方、ふくし関係の方、住民など、様々な方々に参加していただき、偶然の出会いや新たな協業のきっかけづくりをします。

【事業内容】

1 ごちゃまぜ交流会を実施し、地域の人が結びつくきっかけを作ります

ごちゃまぜ交流会は、地域共生社会の実現に向け、地域の誰もが集いふれ合うことができる機会を設け、住民や事業者らが結びつくきっかけとなることを目指しています。

年齢、職種など関係なく、「ごちゃまぜ」の交流の機会をつくります。ごちゃまぜ交流会での偶然の出会いをきっかけに、地域住民が結びつき、地域の課題解決につなげます。

2 多世代のつながりを深めます

各地区の老人憩の家は、2026年10月から交流館として、多世代交流の場となります。老人憩の家（交流館）でeスポーツ、子ども食堂、認知症カフェなどを行い、高齢者、子ども、子どもの保護者などが集い、交流することで、地域の課題解決を深めます。

また、各地区のコミュニティセンターをコミュニティ施設に移行し、地域活動の拠点として社会の変化や住民ニーズの多様化に対応する新たな活動ができるようにしていく予定です。

【予算事業名】

3款1項1目 社会福祉一般事業費

(新) 共助版ライドシェア「ウラ・うらら」の実現を目指します

ふくし文化部 ふくし課
158 千円
(前年度当初予算額) 0円

【目的】

運転免許の無い方、家族等の移動支援が得られない方、東浦町運行バス「う・ら・ら」での移動が困難な方も安心して外出できるまちを目指し、買い物・通院等の移動が困難な方に対し、住民と協力して移動支援を行える体制を整えます。

【事業内容】

2025 年 9 月から 2026 年 1 月まで生路、藤江地区で行った「タクシーを利用した移動ニーズ調査」の結果を参考に、共助版ライドシェア「ウラ・うらら」の実現を目指し、行政、社会福祉協議会、地域とで協同し、仕組みづくりを行います。

1 事業の進め方

- (1) 「タクシーを利用した移動ニーズ調査」の結果を分析し、その結果を各地区と共有します。
- (2) 各地区と打ち合わせを行い、事業の実施の有無を検討します。
- (3) 事業の実施を希望する地域では、具体的な運用方法の検討、法的な課題の調整、協力者の募集などを行います。
- (4) 2026 年度中の事業実施を目指します。

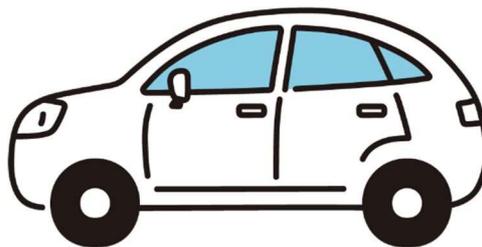
2 実施体制

事業の実施については、ふくし課だけではなく都市整備課、住民自治課とプロジェクトチームを組織し、横断的に実施します。

また、社会福祉協議会、東浦町内福祉事業者など関係団体の協力により、この事業を行いつつ、地域でのつながりを育むことを目指します。

【予算事業名】

3 款 1 項 1 目 社会福祉一般事業費



第3次東浦町地域福祉計画を策定します

ふくし文化部 ふくし課
7,964 千円
(前年度当初予算額) 0円

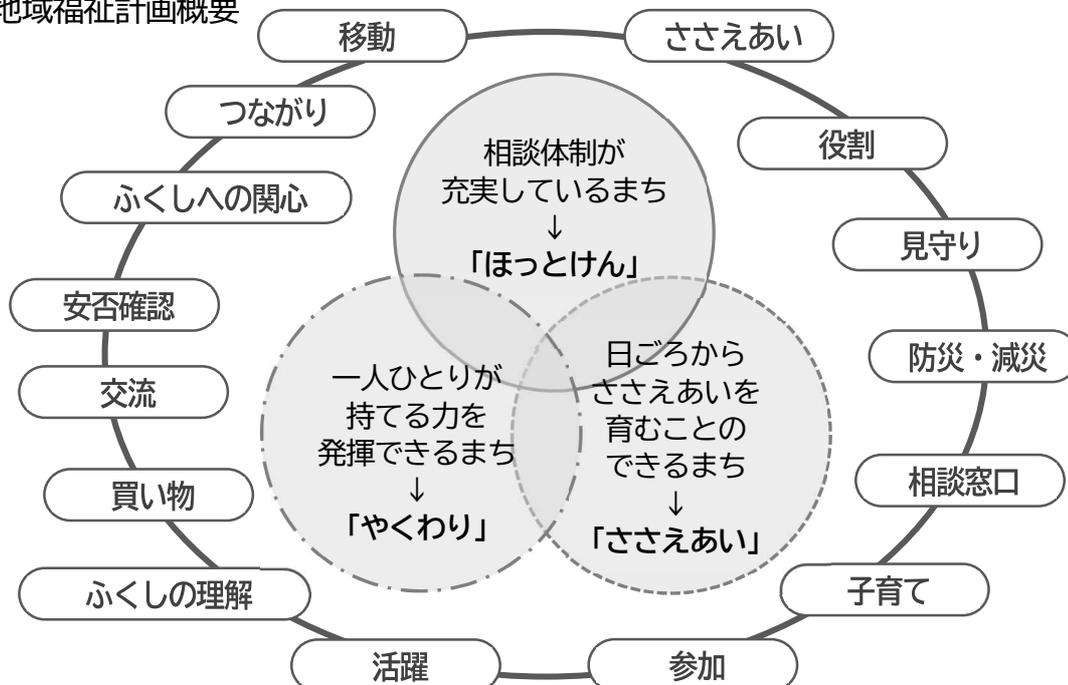
【目的】

第2次東浦町地域福祉計画の基本理念を維持しつつ、基本目標や基本施策に最近の国の動向や社会情勢の変化等を反映させることで、これまで以上に「地域共生社会」の実現に向けた体制を整えます。

【事業内容】

誰も取り残されることなく地域で支えあう社会である「地域共生社会」の実現に向け、包括的な支援体制を構築するための第3次東浦町地域福祉計画を策定します。
第2次地域福祉計画では、「あんき」に暮らせるまち東浦を基本理念に、3つの基本目標、9つの重点プロジェクトを定め、理想のまちづくりに取り組んできました。
第3次地域福祉計画ではこれらの評価を行い、必要な重点プロジェクトは引き継ぎながらも、身寄りのない高齢者等への対応、再犯防止の推進など、新たな課題に対しても対策を講じていきます。

第2次地域福祉計画概要



出典：第2次東浦町地域福祉計画 P34

【予算事業名】

3款1項1目 社会福祉一般事業費

障がいのある方が安心して地域で暮らせる環境を整えます

ふくし文化部 障がい福祉課

2,117,932 千円

(前年度当初予算額) 1,508,726 千円

【目的】

障がいのある方が身近な地域で安心して暮らせるよう支援の充実を図ります。

【事業内容】

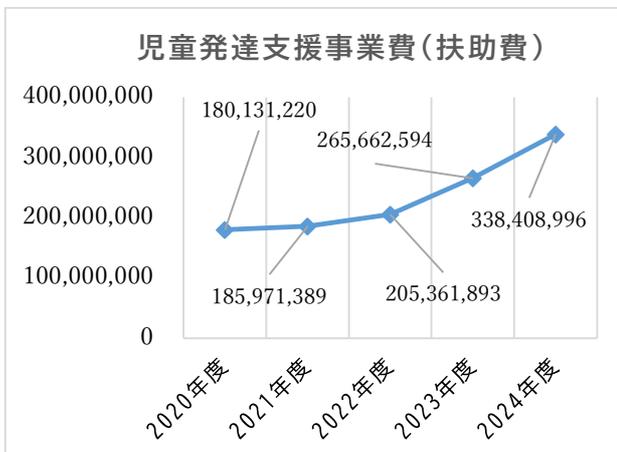
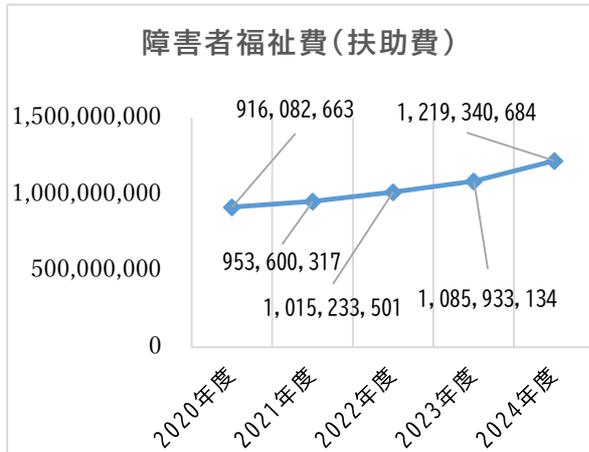
障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などのサービス費及び児童福祉法に基づく通所給付などのサービス費を増額し、障がいのある方が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるようにします。

【予算事業名】

3款1項3目 障害者福祉サービス費、地域生活支援事業費、社会参加促進事業費

3款2項1目 児童発達支援給付事業費

※決算額推移



(新) 医療 DX の推進に伴う環境整備を行います

ふくし文化部 保険医療課
8,052 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

国が推進しているマイナンバーカードと保険証の一体化をはじめとした医療 DX に併せ、福祉医療についても DX 化を推進します。

【事業内容】

医療 DX の取組みにより、将来的に福祉医療費助成にかかる資格者情報等を医療機関と自治体間でマイナンバーを用いてオンラインで確認できるよう環境整備（Public Medical Hub=PMH）が進められており、東浦町においても福祉医療の DX 化を推進するためシステム改修を実施します。システム改修等により将来的に一部医療を除き、マイナ保険証を利用している方が、紙の福祉医療受給者証なしで医療費助成が受けられるようになります。

1 対象者

福祉医療（子ども、母子家庭等、障害者、精神障害者、後期高齢者福祉医療）受給者

2 実施時期（予定）

2026 年度中にシステム改修を行い、2027 年度以降、受給者数が一番多い子ども医療より先行実施

【予算事業名】

- 3 款 1 項 4 目 後期高齢者福祉医療助成事業費
- 3 款 1 項 4 目 障害者医療助成事業費
- 3 款 2 項 3 目 子ども医療助成事業費
- 3 款 2 項 3 目 母子家庭等医療助成事業費

ひとり親家庭等児童受験料給付事業を拡充します

こども未来部 子育て支援課
1,348 千円
(前年度当初予算額) 1,342 千円

【目的】

ひとり親家庭の児童が経済状況に左右されることなく、多様な進路や進学を選択肢を得られるよう支援し、意欲のある児童が自らの可能性を最大限に発揮できる環境を整備します。

【事業内容】

現在実施している「東浦町ひとり親家庭等児童受験料給付事業」は、ひとり親家庭における児童の将来の自立を支援することを目的とした給付制度になります。しかし、現在対象となる費用は高校や大学等の受験料に限定されているため、より幅広い進路選択や進学を提供するため、2026年度から新たに中学受験料を給付対象に追加します。(知多5市5町で初)

1 対象者

東浦町内に住所があり、東浦町遺児手当や児童扶養手当の支給を受けている方、または同様の状況にあると認められる方
※所得制限あり

2 事業実施時期（予定）

2026年4月～

【予算事業名】

3款2項1目 ひとり親家庭等支援事業費



(新) 保護者が希望する子育てを支援します

こども未来部 子育て支援課
7,200 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

保育ニーズが多様化する中、保護者の多様な選択に応え、希望する子育てが実現できるよう支援します。

【事業内容】

保育所等に通っておらず、家庭内等で子育てをする3歳児以上の子どもの保護者の経済的負担を軽減し、安心して希望する子育てができるよう、「多様な子育て応援補助制度」を創設します。

1 対象者

「幼児教育・保育の無償化対象施設^{*1}」や「多様な集団活動事業^{*2}」を利用せず、補助金を申請する年度に4歳、5歳及び6歳になる児童^{*3}を家庭内等で保育している方

※1 幼児教育・保育の無償化対象施設

保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業、企業主導型保育事業、児童発達支援事業所、認可外保育施設等

※2 多様な集団活動事業

地域や保護者のニーズに応じて地域において重要な役割を果たしている、小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動について、当該集団活動を利用する幼児の保護者の経済的負担を軽減する観点から、その利用料の一部を給付する事業。

子ども・子育て支援法に規定された地域子ども・子育て支援事業の1つ。

※3 2026年度においては、2020年4月2日から2023年4月1日までに出生した児童

2 補助金額

児童1人当たり月額20,000円を奇数月に支給（2か月分 計40,000円）

3 事業実施時期（予定）

2026年4月

【予算事業名】

3款2項1目 児童福祉一般管理費

産後の不安を軽減するため産後ケア事業を拡充します

こども未来部 健康課

385 千円

(前年度当初予算額) 175 千円

【目的】

お母さんの体調や気持ちに寄り添いながら、赤ちゃんのお世話や育児についての相談・サポートを助産師等が行うことで、安心して子育てができる環境の整備を図り、出産後の子育てを支援します。

【事業内容】

産後ケア事業には、医療機関に宿泊してケアを受ける「宿泊型」と日帰りでサポートを受けられる「デイサービス型」があり、このうち「宿泊型」について助成額を充実させます。

	宿泊型	デイサービス型
2025 年度助成額	5,000 円/日	5,000 円/日
2026 年度助成額	7,500 円/日	5,000 円/日

事業実施時期（予定）

2026 年4月～

【予算事業名】

4 款 1 項 2 目 母子保健事業費



(新) 5歳児健診にて健やかな成長・発達を促します

こども未来部 健康課

5,037千円

(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

5歳ごろは、言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期とされており、この時期の適切な支援の有無がその後の成長・発達に大きな影響を及ぼすことが指摘されています。そのため、5歳児健診を実施することにより、子どもの発達特性を早期に把握し、保健、医療、福祉、教育の各分野が連携し、個々の特性に合わせた支援につなげます。

【事業内容】

5歳児健診を実施します。

1 事業実施時期 (予定)

2026年4月～

2 健診項目

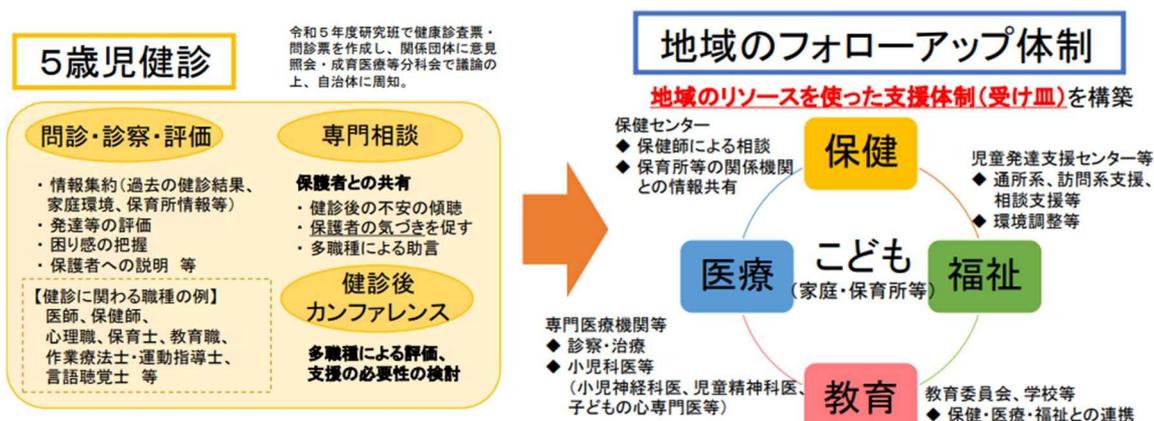
身体発育状況、栄養状況、精神発達の状況、言語障害の有無、育児上問題となる事項、その他の疾病及び異常の有無

3 実施場所

東浦町立保育園、幼保連携型認定こども園 東ヶ丘幼稚園

【予算事業名】

4款1項2目 母子保健事業費



出典：こども家庭庁 第4回こども家庭審議会成育医療等分科会令和6年11月20日 資料2-2 4ページ
5歳児健診のフォローアップ体制のイメージ

(新) 胃内視鏡検査により胃がんの早期発見を目指します

こども未来部 健康課
2,534 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

胃がん検診の選択肢を増やし、受診率を高めることで胃がんの早期発見を実現するとともに、胃がんによる死亡率の減少を目指します。

【事業内容】

胃がん検診の種類に、胃内視鏡検査（胃カメラ）を追加します。

1 対象者

受診日時点で偶数年生まれの 50 歳以上の方

※2027 年度は奇数年生まれの方を対象とし、2 年に 1 回受診できるようにします。

2 自己負担額

5,700 円 ※無料対象者あり

3 事業実施時期（予定）

2026 年 6 月～

【予算事業名】

4 款 1 項 2 目 各種検診等事業費



(新) 生活習慣の見直しをサポートします

こども未来部 健康課
1,584 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

継続的な支援で生活習慣の改善と行動変容を促し、生活習慣病の発症・重症化を防ぎます。

【事業内容】

特定保健指導の積極的支援※を土日や夜間も受けられるようにします。

※特定保健指導の積極的支援とは？

保健師、管理栄養士が面接を行い、目標と計画を立て、生活習慣の改善を3か月以上、継続的にサポートをすること。

1 対象者

東浦町が実施する特定健康診査の結果で、血圧・腹囲などが一定の基準を超えている方

2 事業実施場所 (予定)

県内スギ薬局の一部店舗 (東浦町内は東浦南店)

※実施店舗 約 100 店舗 (2025 年 8 月末時点)

※実施時間 午前 10 時～午後 9 時 (店舗によって異なる場合あり)

3 事業実施時期 (予定)

2026 年 7 月～

4 その他

保健センターでもこれまでどおり平日日中も受けられます。

【予算事業名】

4 款 2 項 1 目 特定健康診査等事業費



(新)生まれてくるお子さんをRSウイルスから守ります

こども未来部 健康課
10,727 千円
(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

妊婦のRSウイルスワクチン接種を推進し、新生児及び乳児の下気道疾病の予防につなげます。

【事業内容】

妊婦へのRSウイルスワクチン接種

- 1 対象者
妊娠28週から37週に至るまでの妊婦
- 2 接種回数
1回
- 3 接種費用
無料
- 4 事業実施時期(予定)
2026年4月～

【予算事業名】

4款1項2目 感染症予防費



がん患者の就労及び社会参加を支援します

こども未来部 健康課

400 千円

(前年度当初予算額) 480 千円

【目的】

がん治療による外見変貌を補完する医療用補整具の購入に係る経済的負担の軽減をします。

【事業内容】

がん治療に起因する脱毛に対するウィッグ又は外科的治療等による乳房の変形に対する乳房補整具の購入費の補助をします。

【がん患者アピアランスケア支援事業補助金の拡充】

人工乳房以外のエピテーゼ※の購入についても補助の対象とします。(愛知県内初)

※エピテーゼとは身体の欠損等を補うため、体に取り付ける人工の装具のこと

1 対象者

がん治療による外見変貌を補完する医療用補整具の購入をした方

2 補助金額

購入額の2分の1（上限2万円）

3 事業実施時期（予定）

2026年4月～

【予算事業名】

4款1項1目 保健衛生一般管理費



中高生×地方創生を進めます

政策企画部 政策課
こども未来部 教育課
219 千円
(前年度当初予算額) 20 千円

【目的】

地域の未来を担う中学生たちが、地域課題や活性化の方策について自ら考え、意見交換を通じて、学びを深めます。

また、県立東浦高等学校の在校生と東浦町内の児童館とのつながりを深めることで、地域の活性化や学びの場を創出します。

【事業内容】

1 中学生×地方創生（新規）

東浦町内中学校の生徒会と意見交換を行い、中学生の視点から、地域活性化に資するアイデアを創出します。

中学生自身が地域の中で果たせる役割を考え、主体的に取り組むことで、中学生が地域活動への理解を深め、自ら考える契機とします。また、生徒会と協議して、成果の公表についても検討していきます。

2 高校生×地方創生

「総合的な学習の時間」を活用し、県立東浦高等学校の在校生に対して、東浦町内のぶどう農家や事業者の方々による仕事に関する講話を行い、仕事の魅力や意義などを伝えていきます。

また、希望する在校生には、小学校の長期休暇期間中に東浦町内の児童クラブでアルバイトとして活動に参加してもらい、県立東浦高等学校の在校生が、地元との関わりを深めるとともに、地域に根差した人材の育成を目指します。

【予算事業名】

3款2項4目 児童館運営費

2款1項7目 地方創生推進事業費

ふれあいセンターの空調を整備します

ふくし文化部 学び支援課
43,406 千円
(前年度当初予算額) 1,375 千円

【目的】

ふれあいセンター空調の計画的な更新をすることで、安全で快適な施設環境を確保します。

【事業内容】

事業内容	西部ふれあいセンター体育室・ロビー系統空調の冷温水発生機更新工事及び監理 (参考) 北部ふれあいセンター 2025 年度実施済 藤江コミュニティセンター 2024 年度実施済
工事期間 (予定)	2026 年 6 月～2026 年 12 月

【予算事業名】

10 款 5 項 5 目 ふれあいセンター管理運営費

西部ふれあいセンター冷温水発生機



文化芸術に触れる機会を増やします

ふくし文化部	学び支援課
	1,000 千円
(前年度当初予算額)	1,000 千円

【目的】

住民が文化芸術に触れる機会を増やします。

【事業内容】

1 子ども文化芸術体験支援事業を創設します（新規）

文化芸術体験をした子どもに、図書カード（1,000 円分）を配付します。配付する図書カードは、子どもたちが文化芸術に関する体験をする動機付けとするとともに、文化芸術に触れるための読書活動を推奨するものです。

▶ 事業対象者

東浦町内在住の中学生以下の子どもで、文化芸術に関する体験をした方

▶ 文化芸術体験の対象事業

次のいずれにも該当する事業

- ・愛知県、知多5市5町及び刈谷市が設置する公共施設で開催される事業であって、文化芸術に触れる機会を供する事業
- ・愛知県又は市町村（教育委員会を含む）が主催、共催又は後援する事業

▶ 配付条件

「文化芸術体験の対象事業」の観覧に要するチケット代が1,000 円以上であること。

※複数事業合算で1,000 円以上としても可。

2 文化芸術イベント開催支援補助金の対象事業を拡大します

▶ 拡大内容

- (1) 継続が見込まれる事業以外に、まずは単年度で実施する事業も対象とします。
- (2) 営利活動を目的とした事業も対象とします。
- (3) 内容が異なる事業であれば、同一団体が同一年度に複数回申請することも可能になります。

【予算事業名】

10 款 4 項 1 目 文化芸術活動推進事業費

- 2. 人を育み、人を活かすまちづくり
- 4. 生活・産業を支える基盤づくり

3つのまつりで東浦町を盛り上げます

ふくし文化部	学び支援課
地域創造部	商工農政課
	観光交流課
	24,065 千円
(前年度当初予算額)	24,065 千円

【目 的】

春には徳川家康の母である於大の方をテーマとした「於大まつり」、秋には東浦町内事業者と来場者がつながる「産業まつり」、誰もがスポーツに親しみ楽しむ「スポーツまつり」を開催します。

【事業内容】

1 於大まつり

予 定 日	2026 年 4 月 18 日 (土) ※雨天時はイオンモール東浦セントラルコートで縮小開催
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 於大姫を先頭に於大のみちから於大公園を練り歩く於大行列、武者行列を実施 ・ 於大公園内での物産展やステージイベント等の実施 ・ 手作りよろい教室参加者への支援 (新規)
予算事業名	7 款 1 項 2 目 観光推進事業費

2 産業まつり

予 定 日	2026 年 11 月 14 日 (土)
事 業 内 容	農業展、商工業展、生活展、ステージの実施
予算事業名	7 款 1 項 2 目 産業まつり開催事業費

3 スポーツまつり

予 定 日	2026 年 11 月 15 日 (日)
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツやアーバンスポーツの実施 ・ 社会人チームとの交流 ・ 全国大会や世界大会で活躍した地元選手の紹介 ・ 健康増進につながるイベントの実施
予算事業名	10 款 5 項 1 目 社会体育一般事業費

- 2.人を育み、人を生かすまちづくり
- 4.生活・産業を支える基盤づくり

子どもたちが東浦町産の農畜産物を味わう機会を増やします

地域創造部 商工農政課

こども未来部 教育課

1,308千円

(前年度当初予算額) 1,266千円

【目的】

子どもたちが東浦町産の農畜産物を味わえるよう学校給食や収穫体験を通じて地域農業や農業者（生産者）への理解を深め、地産地消意識の向上と地域の農業者の支援を図ります。

【事業内容】

東浦町では普段から地元産の食材を優先して調達しています（東浦町産、知多半島産、愛知県産、国産）。東浦町産の農畜産物を学校給食に使うことで、児童生徒に地元食材を味わってもらうとともに、東浦町の農業と生産者を給食だよりやPR動画で紹介します。

特別な地元食材（東浦町産農畜産物）を給食に出す日には、小中学校へ東浦町職員が出向き、東浦町産の農畜産物の紹介や地産地消について説明するなど児童生徒に理解を深める活動を行います。その他の給食も、東浦町産や知多半島産、愛知県産の農畜産物を優先して調達します。

また、子どもたちの収穫体験等を行ってもらい、新鮮な野菜を味わう機会を増やすことで地産地消の良さをPRします。

1 対象者

東浦町内小中学校、県立千種聾学校ひがしうら校舎の児童生徒、保育園児など

2 事業実施回数（予定）

特別な食材提供 4回（ぶどう、だいこん、とうがん、キャベツ等）

収穫体験 2回（お米、ぶどう）

【予算事業名】

6款1項3目 総合農政推進事業費



学校施設・備品を整備して快適な教育環境を保ちます

こども未来部 教育課

58,056 千円

(前年度当初予算額) 899,162 千円

【目的】

小中学校施設や備品が老朽化するなか、計画的な工事、修繕などの整備を実施するとともに、適切な維持管理を図り、安全で快適な教育環境を確保します。

【事業内容】

各種トイレ改修工事、外壁・屋根改修工事などの設計、工事監理及び工事を行います。

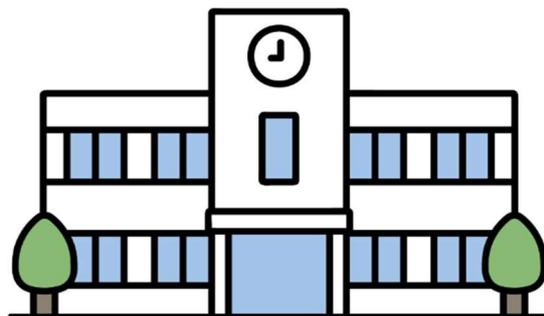
また、空調設備や家具の更新等を行います。(主な予定事業)

- ① 緒川小学校普通教室・特別教室棟屋根外壁改修(設計)
- ② 卯ノ里小学校教室棟トイレ改修(設計)
- ③ 緒川小学校教室棟・管理棟トイレ改修工事(工事、監理)
- ④ 東浦中学校多目的室空調改修工事(工事)
- ⑤ 藤江小学校多目的室等及び西部中学校金工室空調更新(備品)

【予算事業名】

10 款 2 項 1 目 小学校一般管理費、小学校施設整備費

10 款 3 項 1 目 中学校一般管理費、中学校施設整備費



教育現場の支援体制を拡充します

こども未来部 教育課
91,954 千円
(前年度当初予算額) 81,809 千円

【目的】

すべての児童生徒が安心して学校生活を送り、共に学べるよう支援します。また、学校生活を支援する会計年度任用職員の配置を厚くすることで、教職員が子ども一人一人としっかり向き合える環境をつくります。

【事業内容】

1 学校生活支援員（増員）

特別支援学級に在籍する児童生徒及び通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への、個別対応ができるよう支援体制を強化します。

2 校内教育支援センター職員

教室への入室が困難な生徒へのきめ細かなケアを行い、安心して登校できるような環境を整備するとともに、社会的自立に向けたサポートも充実させます。

3 学校環境整備員（増員）

教職員の負担軽減と学習環境のさらなる向上を図ります。

事業実施時期（予定）

2026 年 4 月～

【予算事業名】

10 款 1 項 3 目 義務教育振興一般管理費

10 款 1 項 3 目 学校生活支援事業費

地域と学校が連携した子どもの学び支援を拡充します

こども未来部 教育課
6,677 千円
(前年度当初予算額) 6,181 千円

【目的】

地域と学校の連携をより一層推進し、地域全体で子どもの学び支援の体制をつくりま
す。

【事業内容】

地域学校協働活動推進員および学校運営協議会委員の体制を強化することで、学校と
地域のつながりを深め、地域全体で子どもの学びを支援します。

1 地域学校協働活動推進員（増員）

各小中学校の地区において、地域資源を活用した学校づくりの推進を図るため、
学校と地域の橋渡し役を担う地域学校協働活動推進員の定員を増員します（1名
→2名）。

2 学校運営協議会委員（増員）

地域学校協働活動推進員が「コミュニティ・スクール」の活動を通じて、地域の
課題や意見を各小中学校に積極的に届けられるよう、学校運営協議会委員の定員
を増員します（5名→7名）。

【予算事業名】

- 10 款 1 項 3 目 義務教育振興一般管理費
- 10 款 4 項 1 目 地域学校協働事業費

学生ボランティア(SP)事業により学習支援を充実させます

こども未来部 教育課

6,629 千円

(前年度当初予算額) 5,984 千円

【目的】

教員を目指す学生（SP：スクールパートナー※）が、教員になるための豊かな経験と確かな力を得られるような活動を支援するとともに、小中学校における子どもたちへの学習支援を充実させます。

※東浦町では、学生ボランティアとして一緒に活動していただける方を“教員の仲間”という意味を込めて「スクールパートナー（SP）」と呼んでいます。

【事業内容】

1 ウィークリーSP

小中学校での授業補助、体育や調理実習など実技教科での補助、特別支援学級での個別支援等、学校現場を通して教える楽しさや難しさを実感できる場をつくります。

2 補充学習会・行事等支援 SP

夏休みなどの長期休暇期間中に実施する補充学習会について、より多くの児童生徒が参加できるよう補充学習会を拡大し、学生ボランティアの参加人数も増やします。

また、学校祭や校外学習などの学校・学年行事で活動できる場をつくります。

【予算事業名】

10 款 1 項 3 目 義務教育振興一般管理費



子育て世帯の負担軽減のため学校給食費の補助を拡大します

こども未来部 教育課

173,028 千円

(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

教育の一環として実施している学校給食について、給食の質の確保を図りつつ、保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を補助します。

【事業内容】

国による小学校給食費の抜本的な負担軽減^{※1}に上乗せし、東浦町が補助を行います。また、義務教育期間を考慮し、中学校給食費についても、国の抜本的負担軽減施策に先行して、小学校と同様の考えで東浦町が一定の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減します。

※1 文部科学省の学校給食実施状況等調査（令和5年5月1日現在）によると、学校給食費の月額平均は小学校で4,688円、中学校で5,367円でした。この調査結果を基に、国は小学校の負担軽減額を月額5,200円としました。中学校の負担軽減額は月額5,900円と想定されます。

事業実施時期（予定）

2026年4月～

【児童生徒1人あたりの給食費等】

学 校	給食費 ^{※2}	公費負担額	保護者負担額	備 考
小学校	300 円/食 (60,360 円/年)	国県の補助金額 57,200 円/年	0 円/食 (実質無償化)	東浦町からの補助は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し公費負担。
		東浦町からの補助 最大 3,160 円/年		
中学校	350 円/食 (70,940 円/年)	今後想定される 国県の補助金額 ^{※3} 64,900 円/年	330 円/食	これにより、2026年度は小学校給食の実質無償化を実現。
		東浦町からの補助 最大 6,040 円/年		

※2 更なる給食賄材料費の高騰が見込まれるため、2026年10月から給食費を改定予定年額は改定を見込んで算出（増額分は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し公費負担を予定）。（改定見込み額：小学校320円、中学校370円（学校給食センター運営委員会で審議予定））

※3 中学校における国県の補助金は、今後想定される金額のため、実際には補助はありません。

【予算事業名】 10款5項4目 給食センター運営費

タブレットを活用して個別最適化された学びを進めます

こども未来部 教育課

74,448 千円

(前年度当初予算額) 16,327 千円

【目的】

小中学校での適切で快適な ICT 環境を確保します。これにより、多様な児童・生徒を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びを進めます。また、特別な支援が必要な児童生徒の可能性も大きく広がります。

【事業内容】

- ▶ GIGA スクール構想に基づき 2021 年度に整備した 1 人 1 台のタブレット端末を更新します。

タブレット更新時期 (予定)

2026 年 9 月～

- ▶ タブレット端末は、自宅等での学習においても活用できるため、持ち帰りを促進します。なお、経済的な理由等により家庭に通信環境が整っていない場合でも、子どもの学びを止めないために、可搬型通信機器 (モバイル Wi-Fi ルータ) を貸与する支援を実施します。(新規)

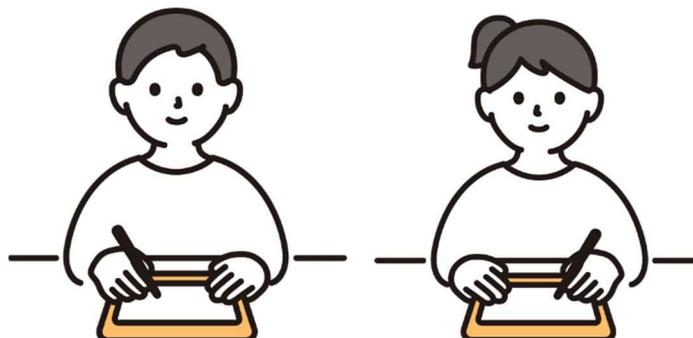
ルーター貸与時期 (予定)

2026 年 4 月～

【予算事業名】

10 款 2 項 1 目 小学校一般管理費

10 款 3 項 1 目 中学校一般管理費



発達性ディスレクシアに関する理解を深めます

子ども未来部 教育課
258 千円
(前年度当初予算額) 75 千円

【目的】

発達性ディスレクシアは学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないものの、文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振が現れることや、二次的な学校不適應などが生じる恐れがあります。

そのため、生まれつき読み書きに困難がある発達性ディスレクシアの子どもを早期に発見し、適切な支援や指導ができる教員を養成します。

【事業内容】

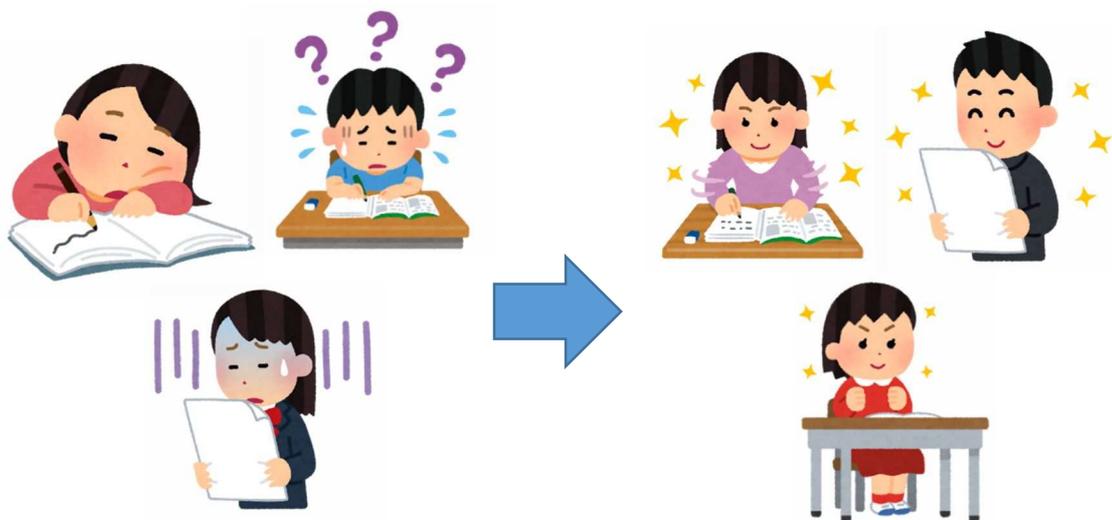
「発達性ディスレクシア」の子どもへの適切な支援や指導ができる教員を養成するため、長久手市が実施する研修会へ町立学校の教員を派遣します。

研修回数（予定）

年間4回

【予算事業名】

10 款 1 項 3 目 義務教育振興一般管理費



ひがしうら地域クラブの更なる充実を進めます

こども未来部 教育課

13,897 千円

(前年度当初予算額) 12,848 千円

【目的】

スポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保します。また、地域の方々が指導者として活動することで、地域で子どもを育む環境を形成するとともに、地域の活性化にも寄与します。

【事業内容】

2023 年度から開始したひがしうら地域クラブは、中学校で行われている部活動とは別に、東浦町教育委員会が運営し、地域の方々が指導者となって活動する新しい形のクラブです。東浦町内在住の中学生なら、誰でも入会が可能で、学校の区別はなく、卒業まで活動可能です。

1 クラブ数等

サッカークラブ、バスケットボールクラブ、総合文化クラブはじめ 2025 年度時点で 10 クラブが活動しています。会員はどのクラブ活動にも自由に参加することができ、様々な活動に親しむことができます。

2 指導者

指導者には、東浦町教育委員会が開催する指導者養成講習会の受講を義務付けています。指導者には、謝礼をお支払いしています。

3 今後の展望

さらに、会員のニーズに応じた多様な選択肢を提供するため、地域のスポーツ、文化・芸術団体を、東浦町が認定する地域クラブとして登録し、種目数の拡大に取り組みます。

また、今後は、幅広い世代との交流を目指し、「ひがしうら地域クラブ」の会員資格年齢の見直しについて検討を進めていきます。

【予算事業名】

10 款 5 項 1 目 地域クラブスポーツ活動事業費

10 款 4 項 1 目 地域学校協働事業費

若者の海外挑戦のための費用を補助します

こども未来部 教育課
10,000 千円
(前年度当初予算額) 10,000 千円

【目的】

「挑戦したい」、「学びたい」という意欲を持つ若者が、明確な目的や目標を胸に、日本を飛び出して海外でチャレンジし、国際感覚を直に身に付ける第一歩目を町が後押しします。

【事業内容】

若者が自らの目的を達成するために自らが考える海外挑戦プラン、民間団体・学校等が実施する海外留学プログラム等に参加する際に必要となる費用を補助します。
2026年度実施分から、県立東浦高等学校の生徒については、東浦町内在住の有無を問わず補助の対象とします。

1 対象者

東浦町内在住の中学生、高校生、大学生等

2 事業実施時期（予定）

(1) 応募要項公開

2026年1月

(2) 応募期間

2026年3月～4月

(3) 渡航対象期間

2026年6月1日以後に出国し、2027年2月28日までに帰国する10日以上6か月以内の海外渡航

(4) 補助対象者決定

2026年4月下旬

3 補助額

1人につき最大100万円

【予算事業名】

10款1項3目 義務教育振興一般管理費

県立東浦高等学校の魅力をもつめる支援をします

こども未来部 教育課

10,000 千円

(前年度当初予算額) 10,000 千円

【目的】

東浦町内唯一の高等学校「県立東浦高等学校」を地域に根差したより一層魅力的な学校とするために、連携を強化し、生徒の挑戦する意欲を後押しするなど「東浦高等学校生であることの魅力」をさらに向上させていきます。

【事業内容】

1 若者海外挑戦応援事業の対象者（再掲）

これまで、東浦町内在住の若者を対象者にしていましたが、東浦町外在住の方でも、県立東浦高等学校に通う生徒は応募できるようにします。県立東浦高等学校の生徒の「挑戦したい」気持ちを後押しします。

2 学校の魅力発信

県立東浦高等学校の特色や取組みを東浦町広報紙等に掲載して広く発信し、地域の方にその魅力を伝えることで、「地域が応援する高等学校」として、地域に根差した学校、皆さんから選ばれる学校となるようつなげていきます。

3 高校生×地方創生（再掲）

「総合的な学習の時間」を活用し、県立東浦高等学校の在校生に対して、東浦町内のぶどう農家や事業者の方々による仕事に関する講話を行い、仕事の魅力や意義などを伝えていきます。

また、小学校の長期休暇期間中に東浦町内の児童クラブでアルバイトとして活動に参加することで、県立東浦高等学校の在校生が、地元との関わりを深めるとともに、地域に根差した人材の育成を目指します。

【予算事業名】

10 款 1 項 3 目 義務教育振興一般管理費

(新) 子育て世帯の居場所づくりを推進します

こども未来部 子育て支援課

115 千円

(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

子育て世帯が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進し、子育て世帯間の交流を促すことで、仲間づくりやコミュニティ形成を支援します。

【事業内容】

就労等により平日に参加が難しい保護者にも利用しやすくするため、土曜日（月1回）に総合子育て支援センター「うららん」にて、新たな交流イベントを開催します。

1 対象者

未就学児及びその保護者

2 事業実施時期（予定）

2026 年 4 月～

【予算事業名】

3 款 2 項 6 目 つどいの広場事業運営費

保育園給食の充実を図ります

こども未来部 子育て支援課
108,000 千円
(前年度当初予算額) 92,414 千円

【目的】

園児の健康を維持・増進するため、適切な栄養摂取に配慮し、安心・安全な給食を提供します。また、給食を通じて園児の身体の健康を支えるだけでなく、心の成長を促し、食育の観点から食への関心や知識を深めます。さらに、集団での食事を通じて社会性を育みます。

これらの取組みを継続・充実させるため、給食の食材費の一部を保護者の方にご負担いただくことで、給食を始め保育の質を確保し、安定的かつ継続性のある保育サービスを実施するとともに、多様な保育サービスを展開していきます。

【事業内容】

単に「栄養摂取」を確保するだけでなく、食を通じて「楽しさ」や「食育」を促進します。特におやつメニューの改善をはじめ、園児に人気のある給食の提供回数を増やすなど、給食の時間が楽しく、ワクワクする時間になるように、給食の充実を図ります。

1 対象者

東浦町立保育園に通う乳児及び幼児

2 保護者負担額

月額 5,000 円

3 事業実施時期（予定）

2026 年4月1日～

【予算事業名】

3 款2 項2 目 保育園運営費

2. 人を育み、人を活かすまちづくり

保育園の施設整備を進めます

こども未来部 子育て支援課

43,905 千円

(2028 年度までの債務負担行為限度額) 55,189 千円

(前年度当初予算額) 31,768 千円

【目的】

安全・安心でより良い保育園の環境整備、機能確保のために施設整備を進めます。

【事業内容】

設計業務

保育園調理室及び遊戯室空調設備工事設計業務

業務内容	近年の気候変動による猛暑や異常高温に対応し、園児及び職員を熱中症リスクから守るため、保育園の調理室及び遊戯室に空調機を設置します。
実施園	緒川保育園、石浜西保育園、生路保育園
設計期間（予定）	2026 年 5 月～10 月

工事及び監理

保育園調理室及び遊戯室空調設備工事

工事監理業務

業務内容	近年の気候変動による猛暑や異常高温に対応し、園児及び職員を熱中症リスクから守るため、保育園の調理室及び遊戯室に空調機を設置します。
実施園	緒川保育園、石浜西保育園、生路保育園
工事期間（予定）	2026 年 11 月～2027 年 6 月 ※債務負担行為あり

高圧機器等取替工事

業務内容	安心安全な保育運営を確保するため、老朽化した電気設備の取替工事を実施します。
実施園	生路保育園
工事期間（予定）	2026 年 6 月～10 月

【予算事業名】

3 款 2 項 2 目 保育園施設整備事業費

(新)こども誰でも通園制度を開始します

こども未来部 子育て支援課
3,726 千円
(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

全てのこどもの育ちを応援し、子育て家庭への支援を強化するため、家庭とは異なる経験や家庭以外の人と関わる機会などを通じてこどもの成長を見守り、孤立感や不安感を抱えながら子育てしている保護者を支援します。

【事業内容】

1 対象者

保護者の就労状況に関わらず、保育所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満のこども

2 利用時間及び料金

こども1人あたり月10時間（1回2.5時間×4回）まで
※1回750円

3 実施園

石浜保育園

4 事業実施時期（予定）

2026年4月～

5 メリット

・こども

同世代との関わりにより、社会情緒的な発達を支えるなど、こどもの心身の成長・発達に良い影響が期待できます。

・保護者

制度の利用を通じて、こどもの成長の過程と発達の現状を客観的に捉えることができるなど、新たな気づきや親としての成長につながります。

【予算事業名】

3款2項2目 保育園運営費

保育園の手ぶら登園を拡充します

こども未来部 子育て支援課
9,175 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

手ぶら登園を拡充することで、保護者の登園負担及び保育士の業務負担の軽減を図ります。

【事業内容】

現在、保護者が用意しているエプロン、口ふきタオルを廃止し、使い捨てエプロン、ノンアルコールのウェットティッシュを保育園で用意します。
また、お昼寝布団については、レンタルサービスを導入します。

事業実施時期（予定）

2026 年 4 月～

【予算事業名】

3 款 2 項 2 目 保育園運営費



(新)町内に保育所等を開設する民間事業者を支援します

こども未来部 子育て支援課

0千円

(2028年度までの債務負担行為限度額) 100,000千円

(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保護者の選択肢を増やし、子どもを安心して育てることができる環境を整備します。

【事業内容】

東浦町内に保育所等を開設、運営する民間事業所に対し、建設費や改修費の一部として5,000万円を上限に補助します。

※債務負担行為限度額については、2件の交付を見込んで設定

①2026年度申込み、2027年度交付 1件

②2027年度申込み、2028年度交付 1件

1 対象者

東浦町内に保育所等を開設、運営する民間事業者

2 事業実施時期(予定)

2026年4月～

【予算事業名】

3款2項1目 保育等給付事業費

- 2. 人を育み、人を活かすまちづくり
- 4. 生活・産業を支える基盤づくり

於大の方生誕 500 年を盛り上げます

地域創造部 観光交流課

212,115 千円

(2027 年度までの債務負担行為限度額) 228,530 千円

(前年度当初予算額) 12,871 千円

【目的】

2028 年は徳川家康の生母於大の方生誕 500 年という記念すべき年を迎えることから、於大の方の功績を次世代に引き継ぐとともに、まちのにぎわい創出を図り、住民のシビックプライドの醸成を図ります。

【事業内容】

4 月に開催している於大まつりや、2025 年度から進めている於大のみち再整備をはじめ、於大の方生誕 500 年に向けて、於大の方の功績や東浦町の魅力を広く PR できるイベント等を計画していきます。また、2028 年の町制 80 周年事業とも連携して、事業を進めます。

1 事業実施時期（予定）

2026 年 4 月～

2 実施体制

事業の実施については、観光交流課だけではなく土木管理課、都市整備課、商工農政課、政策課等とプロジェクトチームを組織し、横断的に実施します。

於大の方ゆかりの市町と連携し、於大の方生誕 500 年記念ロゴマーク作成等の事業を進めます。

【予算事業名】

7 款 1 項 2 目 観光推進事業費

10 款 4 項 5 目 郷土資料館事業費



於大のみちと調和した郷土資料館になります

地域創造部 観光交流課
44,528 千円
(前年度当初予算額) 2,871 千円

【目的】

郷土資料館の施設を適正に維持管理することにより、施設の長寿命化を図ります。

【事業内容】

外壁・屋根等の改修を行います。なお、外壁工事では於大のみちとの調和を意識した外壁の色調になるよう工夫する予定です。

工事期間（予定）

2026年10月～2027年1月

【予算事業名】

10款4項5目 郷土資料館管理費



東浦町郷土資料館（うのはな間）外観

- 2. 人を育み、人を活かすまちづくり
- 4. 生活・産業を支える基盤づくり

於大のみちを再整備して魅力ある散策路を目指します

地域創造部 観光交流課

156,110 千円

(2027 年度までの債務負担行為限度額) 208,530 千円

(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

「於大のみち」は、ウォーキングコースとして日々利用されているだけでなく、八重桜の名所として町内外に知られており、東浦町における主要なスポットとなっています。しかしながら、整備から 30 年以上経過し、舗装や東浦町の歴史・於大の方を紹介する陶板等の老朽化が進んでいます。

2028 年の於大の方生誕 500 年に向けて於大のみちの再整備を実施し、魅力ある散策路を目指します。

【事業内容】

2025・2026 年度の 2 か年で「於大のみち」の再整備に係る計画策定業務を行い、2026・2027 年度にかけて「於大のみち」の再整備工事を行います。

【予算事業名】

7 款 1 項 2 目 観光推進事業費



於大のみち 八重桜

(新)要配慮者が社会福祉施設に直接避難できるようにします

総務部 防災課

7,793 千円

(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

平常時から利用している社会福祉施設への直接避難を可能にすることで、災害時に自宅での生活が困難となった要配慮者が、通い慣れた環境で生活を続けることができるようにします。

【事業内容】

1 社会福祉施設への直接避難を可能にします

(1) 実施予定施設

東浦町内の社会福祉施設 5法人 11事業所

(2) 対象者

直接避難予定施設の利用者

(3) 事業実施時期 (予定)

2026年4月～

2 社会福祉施設への直接避難実施に向けて、資機材整備を行います

▶ 購入物品

簡易ベッド、簡易トイレ、物置等

購入資機材イメージ



「簡易トイレ」



「簡易ベッド」



「物置」

【予算事業名】

9款1項4目 防災事業費

消防団分団詰所を改修します

総務部 防災課
13,519 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

消防団の詰所は、災害時における消防団活動の拠点となる施設です。分団詰所を改修し、消防団員が円滑に消防団活動を行える環境を整備します。

【事業内容】

屋根防水、外壁補修、トイレ洋式化、畳張替、照明 LED 化などを行います。

1 対象施設

藤江分団詰所

2 工事期間 (予定)

2026 年 7 月～2027 年 2 月

3 その他

緒川、緒川新田、石浜、生路分団詰所は改修済み

【予算事業名】

9 款 1 項 2 目 消防管理費



改修前 藤江分団詰所

資源ごみの回収拠点を増やします

地域創造部 環境課
1,393 千円
(前年度当初予算額) 1,018 千円

【目的】

資源ごみを回収場所にお持ちいただく際の住民の利便性を向上させるとともに、資源の回収量を増やすことでごみの減量を進め、資源循環型社会の実現に向けた取組みをさらに推進します。

【事業内容】

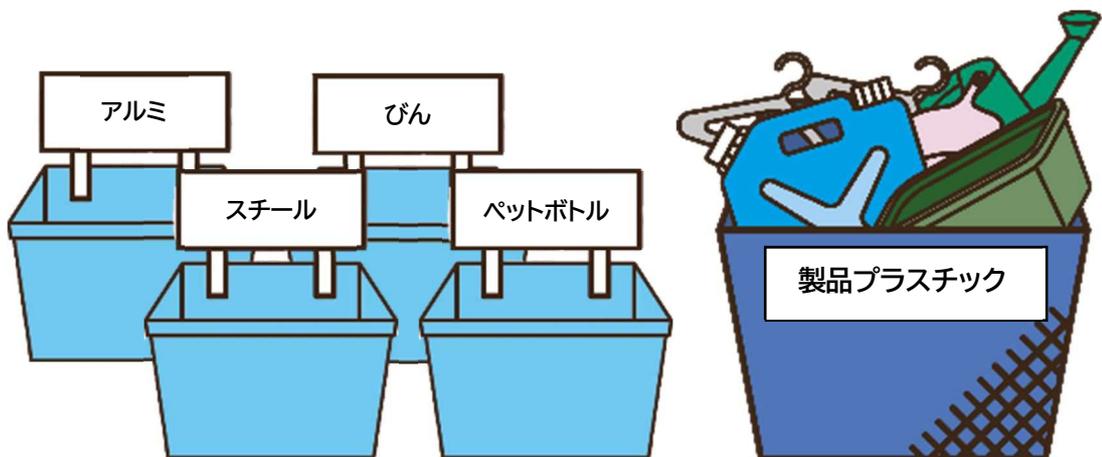
これまで役場及び森岡コミュニティセンターの2拠点のみに常設していた資源ごみの回収拠点を、卯ノ里コミュニティセンター及び藤江公民館にも拡大し、資源ごみ（①アルミ缶・スチール缶、②びん、③ペットボトル、④製品プラスチック）の回収を開始します。

事業実施時期

2026年4月～

【予算事業名】

4款2項1目 資源ごみ回収事業費



持続可能な循環型社会構築を推進します

地域創造部 環境課

320,624 千円

(前年度当初予算額) 327,150 千円

【目的】

3R（リデュース・リユース・リサイクル）を基本とした廃棄物の発生抑制、減量化、資源化の推進など、持続可能な循環型社会の構築を推進します。

【概要】

一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）に沿って、循環型社会構築の推進を図ります。

【基本理念】

みんなですすめる 循環型社会推進のまち ひがしうら

- ・基本方針1 資源の有効利用と3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
- ・基本方針2 ごみの排出抑制・減量の推進
- ・基本方針3 安定したごみの適正な処理・処分

▶ 食品ロス削減対策

- ・「食品ロス削減推進計画」に基づき、住民・事業者・東浦町が協力し食品ロス削減を推進
- ・東浦町役場を始め、町内4か所にフードドライブポストを常設

▶ リユース事業の推進

- ・回収した粗大ごみ・おもちゃを「メルカリ shops」で販売
- ・保育園等でのおもちゃのリユース

▶ 家庭系可燃ごみ処理有料化の継続

▶ ごみ出し・粗大ごみ運搬困難者へのごみ出し支援事業・戸別有料収集

▶ 生ごみ処理の促進

生ごみ処理機の無料貸出

4款2項1目
ごみ処理
事業費
153,117 千円

▶ 住民へのわかりやすい情報発信

町公式 LINE を利用した情報発信、分別検索の充実

▶ 資源ごみの回収拠点の増設（再掲）

（新）卯ノ里コミュニティセンター、藤江公民館で実施

▶ 事業者と連携した資源化の推進

ペットボトルの水平リサイクル、廃食用油の SAF への循環

4款2項1目
資源ごみ回収
事業費
167,507 千円

(新) ZEH住宅への補助をスタートします

地域創造部 環境課
1,600 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

第3次東浦町の環境を守る基本計画中間見直しにて、東浦町における二酸化炭素排出量を、2030年度までに2013年度比で50パーセント削減する目標を定めました。

二酸化炭素排出量の削減効果が大きいZEH住宅の建築を支援することで、削減目標の達成を図ります。

※ZEH住宅とは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略で、省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーを創出することにより、年間の一次エネルギー消費量を正味ゼロとする住宅のことをいいます。

【事業内容】

従来補助対象としている定置用リチウムイオン蓄電池や、家庭用燃料電池システムに加え、新たに「一体的導入システム（ZEH：ゼッチ）」を補助対象に加えます。

システムの概要	補助額
一体的導入システム（ZEH） (住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、高性能外皮等)	16万円

1 対象者

自らが居住する東浦町内の住宅に対象システムを設置する方

2 事業実施時期（予定）

2026年4月～

【予算事業名】

4款1項5目 環境保全対策事業費

住民の生命と財産をまもる雨水施設を管理します

インフラ整備部 水循環管理課
 646,741 千円
 (前年度当初予算額) 88,098 千円

【目的】

雨水施設の点検及び修繕を行うとともに、豪雨による水害の危険性を軽減し、住民の生命と財産を守り安心して暮らせるよう、雨水対策を推進します。

【事業内容】

1 緒川ポンプ場ポンプ増設工事委託

事業内容	雨水排水ポンプの増設工事を行います。 口径 900 mm 1 台
場 所	緒川ポンプ場
委託期間 (予定)	2026 年 6 月～2028 年 3 月

2 スtockマネジメント計画対策工事

事業内容	ポンプ場設備の改修工事を行います。 (ポンプ設備、沈砂池設備)
場 所	緒川ポンプ場
工事期間 (予定)	2026 年 10 月～2027 年 3 月

3 ポンプ場しゅん濇工事

事業内容	沈砂池のしゅん濇 ^{せつ} を行います。
場 所	藤江ポンプ場
工事期間 (予定)	2026 年 10 月～2027 年 2 月

4 公共下水道維持修繕工事 (雨水) (小規模修繕工事)

事業内容	雨水ポンプ場、排水路等の修繕を行います。
場 所	東浦町全域
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

【予算事業名】

収益的支出

1 款 1 項 1 目 管渠施設維持費

資本的支出

1 款 1 項 1 目 管渠建設改良費



緒川ポンプ場

「まち」の魅力を紹介していきます

政策企画部 政策課
地域創造部 観光交流課
まちづくり部 都市デザイン課
261 千円
(前年度当初予算額) 550 千円

【目的】

東浦町の景観まちづくりをはじめ「まち」を広く知ってもらい、共感や愛着を醸成する取組みを行っていきます。

【事業内容】

景観への共感を広げるための主な取組みをアップデートするとともに、行政だけではなく、住民と一緒に景観・観光・風景など、東浦町の魅力を見つけて広く発信・推進していきます。

こうした取組みを通じて、住民のシビックプライドを醸成していきます。

▶ 新たな取組み

- ・東浦町 PR 出展等への景観展示の併設
- ・東浦町観光協会が開催している「町の魅力発見ツアー」等を活用し、地域の自然・歴史・文化・景観を融合したまち歩きを実施
- ・ウェブサイトやアプリを活用した情報発信
- ・景観マップを活用した、東浦町内で行う撮影の誘致

【予算事業名】

8 款 5 項 1 目 都市計画総務事業費

8 款 5 項 1 目 人件費



景観 PR ブース出展



東浦の景観まち歩きin緒川
(2024 年度開催)

(新) 生活応援クーポン券を配付します

地域創造部 商工農政課
319,939 千円
(前年度当初予算額) 0円

【目的】

生活応援クーポン券を配付することで、物価高騰の影響を受ける住民の生活支援と、町内経済の活性化を図ります。

【事業内容】

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」等を活用して、東浦町内の対象店舗（取扱店舗）で使用できるクーポンを住民に配付します。

1 対象者

2026年4月1日現在で東浦町の住民基本台帳に登録されている方

2 配付金額

住民1人当たり6,000円分（共通券6枚、中小店舗券6枚）

3 配付時期

2026年6月から順次発送

4 配付方法

郵送

5 使用可能期間（予定）

2026年6月～12月

【予算事業名】

7款1項2目 生活応援クーポン券事業費



生活応援クーポン券イメージ

(新) 新技術導入や機械化に取り組む農業者を支援します

地域創造部 商工農政課
3,969 千円
(前年度当初予算額) 0円

【目的】

意欲的な農業者が行う高性能機械の導入（農業のスマート化）や生産資材の導入、施設の整備等に対して総合的に支援することで、東浦町内の農業の生産力強化を図ります。

【事業内容】

1 対象者

農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者

2 事業内容

- (1) 栽培施設、共同利用施設の整備、機能向上を伴う改修
- (2) 複数年効果を発揮する生産資材（防風ネット等）の導入
- (3) 高性能な農業機械（トラクター、野菜収穫機等）の導入

3 要件

- (1) 「産地戦略」の作成（産地の10年後を見通した上で、5年間の対策を定めた戦略）
面積：露地3ha 施設1ha、農業者：3人以上
- (2) 取組主体計画の作成（取組主体（申請する農業者））当たり生産性10%以上の向上
- (3) 事業費：下限3,000千円、上限50,000千円

4 補助率

上乘助成：事業費の1/5以内（上限1,000千円）

※県：1/3以内

【予算事業名】

6款1項3目 総合農政推進事業費



出典：農林水産省 担い手確保・経営強化支援事業 担い手確保・経営支援対策パンフレット画像

(https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7ni_shien/attach/pdf/index-2.pdf)

(新) 農地利用の最適化活動を加速させます

地域創造部 商工農政課
2,026 千円
(前年度当初予算額) 0円

【目的】

地域計画の運用が始まり、計画に基づく農地の集積・集約化や遊休農地の解消等の活動（農地の最適化活動）を農業委員会委員等により活発的に行ってもらうために、業務の増加に対して東浦町農業委員会委員等の報酬の上乗せ制度を新たに設けます。

【事業内容】

1 対象者

東浦町農業委員会委員、農地利用最適化推進委員

2 対象の活動

- (1) 地域計画の推進、変更、見直しに関する話し合いの場（協議の場）の実施
- (2) 農地の集積・集約化に関する活動（農地中間管理機構との協議等含む）
- (3) 新規就農者等の農地の斡旋（遊休農地の解消に関する活動）、新規参入の促進

3 内容

東浦町農業委員等の報酬（基本給）に活動実績に応じて報酬の上乗せを行う。
※農地利用最適化交付金を交付額の範囲内で実施

4 国の制度（農地利用最適化交付金）

農地法等の法令事務に加え、農地利用最適化活動が必須事務として追加され、農地利用の最適化に係る農業委員等の積極的な活動を推進するため、報酬額を上回る部分として活動の実績・成果に応じた報酬額を農地利用最適化交付金として交付している。

5 事業実施時期（予定）

2026年4月～

【予算事業名】

6款1項1目 農業委員会事務費



オーガニック農業など自然環境に配慮した農業を推進します

地域創造部 商工農政課

716 千円

(前年度当初予算額) 485 千円

【目的】

オーガニック農業（有機農業）や堆肥の施用に取り組む農業者の支援を行うことで、みどりの食料システム戦略のめざす地球温暖化防止や環境負荷の低減及び生物多様性保全に資する持続可能な農業の実現を図ります。

【事業内容】

1 対象者

農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者

2 支援要件

- (1) 主作物について販売することを目的に生産を行っていること
- (2) 環境負荷低減のチェックシートによる自己点検に取り組んでいること
- (3) 環境保全型農業の取組みを広げる活動に取り組むこと

3 支援対象活動

化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと、地球温暖化防止や生物多様性等に効果の高い営農活動を合わせて行うことが対象です。

【予算事業名】

6款1項3目 総合農政推進事業費

環境保全型農業直接支払交付金の取組事例



出典：農林水産省ホームページ 環境保全型農業直接支払交付金

(https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/mainp.html)

環境保全型直接支払交付金について（令和7年8月）PDFの資料内の写真を引用し、一部改変して使用。

町のにぎわい創出につながるイベントを応援します

地域創造部 観光交流課

1,500 千円

(前年度当初予算額) 1,500 千円

【目的】

東浦町のにぎわい創出につながるイベントの開催を促し、地域の活性化を図ります。

【事業内容】

東浦町のにぎわいにつながるイベントを主催する団体に対し、その活動に要した経費を補助します。イベントの定着化を図るため、新規開催だけでなく、開始3年目までのイベントを支援の対象とします。

▶ にぎわい創出補助金

(1) 対象事業

継続を見込む開始3年目までのイベント

※申請団体が営利の目的をもって事業を営む団体及び法人の場合は1年目のみ

(2) 補助率

・1年目 10分の10以内(上限30万円)

※ただし、申請団体が営利の目的をもって徴収する費用がある場合は、3分の2以内(上限30万円)

・2年目 10分の9以内

・3年目 10分の8以内

(3) その他

期間を設けて事業を募集し、書類審査により選考

【予算事業名】

7款1項2目 観光推進事業費

都市計画の立案等に役立てる調査を実施します

まちづくり部 都市デザイン課
3,289 千円
(前年度当初予算額) 0円

【目的】

都市計画に関する基礎調査を行い、都市計画の立案や都市政策の検討に活用します。

【事業内容】

愛知県では、概ね5年ごとに、県内都市計画区域内の人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用等の現況及び将来の見通しについての調査を市町村の協力を得て実施しています。

愛知県からの依頼により、東浦町においては、2026年度に調査区の設定、人口及び世帯規模（小単位）を実施します。

【今後の事業実施予定】

今回の調査時期は2026年度～2030年度です。

5年間の調査で東浦町が実施予定の調査項目は以下のとおりです。

2026年度：調査区の設定、人口及び世帯規模（小単位）

2027年度：建物利用状況、地区別新築状況

2028年度：土地利用現況（土地利用別面積）

2029年度：開発状況

2030年度：愛知県において調査結果の分析、とりまとめ

【予算事業名】

8款5項1目 都市計画総務事業費

快適で良好な市街地形成を図ります

まちづくり部 都市デザイン課

9,328 千円

(前年度当初予算額) 6,743 千円

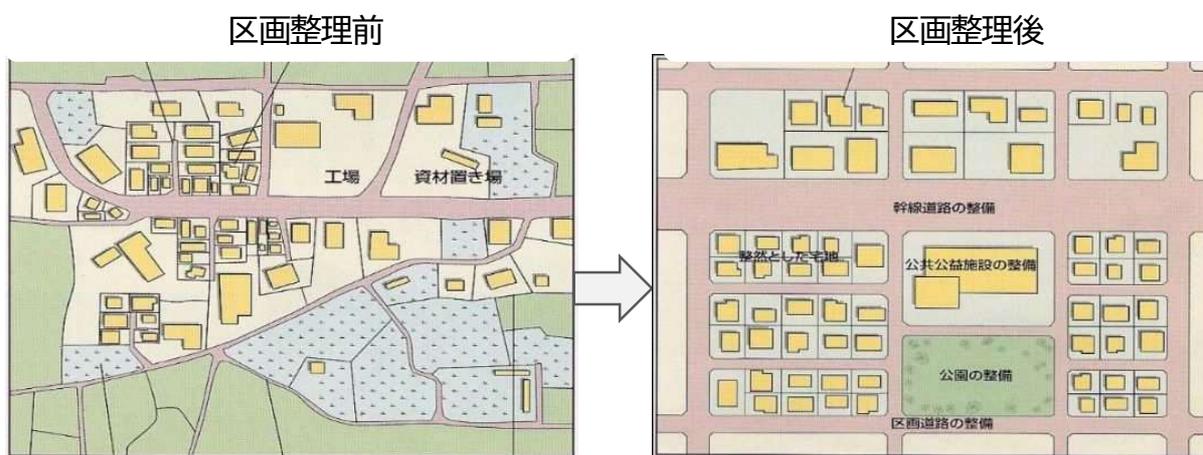
【目的】

土地区画整理事業を促進し、計画的な基盤整備を行い、快適で良好な市街地形成を図ります。

【事業内容】

- ・土地区画整理組合、同設立準備委員会への補助金の交付
※交付対象：(仮称) 東浦森岡南部土地区画整理組合設立準備委員会
- ・土地区画整理組合に対する事業執行の指導・監督
- ・土地区画整理組合の役員会及び総会への出席
- ・土地区画整理組合設立準備委員会の事務局運営
- ・土地区画整理組合の設立支援

【土地区画整理事業のイメージ】



- ▲ 行き止まりの道路
- ▲ 不整形の土地
- ▲ 道路に面していない宅地
- ▲ 狭く曲がった道路
- ▲ 公園がない

- ◎ 整形化された宅地
- ◎ 全ての宅地が道路に面する
- ◎ 広い道路の整備
- ◎ 公園の整備

【予算事業名】

8 款 5 項 2 目 土地区画整理組合等助成事業費

名古屋三河道路が紡ぐ、魅力あふれるまちづくりを推進します

まちづくり部 都市デザイン課
インフラ整備部 建設企画課
328 千円
(前年度当初予算額) 15 千円

【目的】

名古屋三河道路の整備効果を最大限に活用し、地域の魅力をさらに高めるため、道路周辺のポテンシャルを向上させる土地の利活用等を検討し、積極的にまちづくりを進めます。

【事業内容】

名古屋三河道路の早期実現に向け、愛知県が中心となり、関係自治体等と整備促進のための活動を進めています。東浦町においても、引き続き関係自治体と連携しながら、必要な調査等が一層加速されるよう最大限努力していきます。

【実施体制】

関係部署（道路、土地利用、産業・工業、観光、公園、防災等）で構成するプロジェクトチームを設置し、名古屋三河道路が単なる通過道路にならないよう、内陸側及び一般国道 366 号バイパスへのインターチェンジの配置や関連道路の整備、防災拠点を兼ねた道路休憩施設のような広域交流拠点の整備など、土地利用や道路ネットワークの再構築により「まちをデザイン」し、魅力あふれるまちの実現を目指します。



出典：愛知県 名古屋三河道路（西知多道路～名豊道路区間）都市計画の案を作成するための基本方針（案）を基に吹き出し等を追記して作成

【予算事業名】

- 8 款 2 項 1 目 道路橋りょう一般管理費
- 8 款 2 項 3 目 都市計画道路整備事業費
- 8 款 5 項 1 目 人件費

日常生活に必要な移動サービスを「う・ら・ら」で提供します

まちづくり部 都市整備課

145,734 千円

(前年度当初予算額) 146,059 千円

【目的】

日常生活に必要な買い物、通院などの輸送サービスを、東浦町運行バス「う・ら・ら」が提供します。

【事業内容】

▶ 東浦町運行バス「う・ら・ら」の運行

日常生活に必要な買い物、通院などの輸送サービスを、5路線・6車両で運行しています。また、緒川駅では他路線への乗り継ぎが可能で、刈谷駅や巽ヶ丘駅へもアクセスできます。

▶ バスロケーションの運営

「う・ら・ら」の現在地や運行情報をお手持ちのスマートフォン等で確認できるサービスです。

▶ 公共交通全体の利用促進

「う・ら・ら」回数券の共通利用、民間バス・タクシー・他市町の行政バスの情報等を盛り込んだ公共交通パンフレットの配布、民間バス・タクシーとの連携強化

▶ 運賃の見直し検討

昨今の運転士不足により、今後「う・ら・ら」の維持が困難になることが予想されます。そこで、幹線である「う・ら・ら」を補完する移動手段として、住民同士が支え合う「ウラ・うらら」などの新たな移動サービスを構築し、地域全体の公共交通の利便性向上を目指しています。この新たな移動サービスの導入を見据え、「う・ら・ら」の運賃について公平性を考慮した見直しを検討します。

※参考 P24 共助版ライドシェア「ウラ・うらら」の実現を目指します

【予算事業名】

2款7項1目 行政バス運行事業費

より魅力的でにぎわいのある於大公園に生まれ変わります

まちづくり部 都市整備課

42,000 千円

(前年度当初予算額) 430,000 千円

【目的】

公園内施設の老朽化が進行しているため、施設の更新を図るとともに利用者の意見を取り入れ、より魅力的でにぎわいのある公園を整備します。

【事業内容】

於大公園再整備工事

事業内容	バーベキュー広場整備（パーゴラの設置等）及び園路舗装を行います。
場 所	於大公園（バーベキュー広場及び園路）
工事期間（予定）	2026年12月～2027年2月 ※冬期のバーベキュー広場の閉鎖期間中

【予算事業名】 8款5項4目 公園整備事業費

【於大公園再整備工事の主な整備内容】

【ふれあい交流ゾーン】

- ▶ バーベキュー広場
 - ・パーゴラの設置等
(完成予定：2026年度末)
 - ・野外卓の更新等
(完成予定：2025年度末)
- ▶ ふれあいファミリー広場
(完成予定：2025年度末)
- ▶ おもしろサイクル広場
(完成予定：2025年度末)

↓

ふれあい交流ゾーン利用開始日(パーゴラ設置等を除く)

2026年4月18日(土曜日)

※「於大まつり」と同日

【子どものあそび場ゾーン】

- ▶ 遊具広場
(完成：2023年度末)
- ▶ 遊具広場トイレ
(完成：2024年度末)

(イメージ図)バーベキュー広場

【メインエントランスゾーン】

- ▶ 駐車場(完成：2023年度末)
- ▶ 駐車場トイレ(完成：2023年度末)

耐震性が不十分な住宅への支援を拡充します

まちづくり部 建築施設課

13,986 千円

(前年度当初予算額) 8,607 千円

【目的】

南海トラフ地震等の発生に備え、耐震化を促進することで、住宅の被害及びこれに基
因する人命や財産の損失を未然に防止します。

【事業内容】

2035 年度までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消することを目指します。まずは、2030
年度に耐震化率 95%の達成を目標に掲げ、住宅の耐震化を促進し、耐震化率の向上を
図ります。

- ▶ 安価で改修可能な「精密診断法」を活用した改修設計費を補助することで、住宅の耐震化を促します。(新規)
- ▶ 重点区域として居住誘導区域を設定し、この区域にインセンティブを適用しながら耐震改修補助を実施することで、耐震化を進め、良好な住環境の整備を図ります。

1 対象者

対象建築物の所有者又は居住者

2 居住誘導区域ごとの補助金インセンティブ

- ・居住誘導区域内
最大 115 万円＋「精密診断法」による設計費補助 20 万円 計 135 万円
※「一般診断法」によるもの 最大 115 万円
- ・居住誘導区域外
最大 95 万円＋「精密診断法」による設計費補助 20 万円 計 115 万円
※「一般診断法」によるもの 最大 95 万円

3 事業実施時期 (予定)

2026 年 4 月～

【予算事業名】

8 款 6 項 1 目 住宅一般管理費

【耐震化率の目標】

2035 年度目標 概ね解消
(現状 (2025 年) 約 84%)



空き家の増加を抑えます

まちづくり部 建築施設課

496 千円

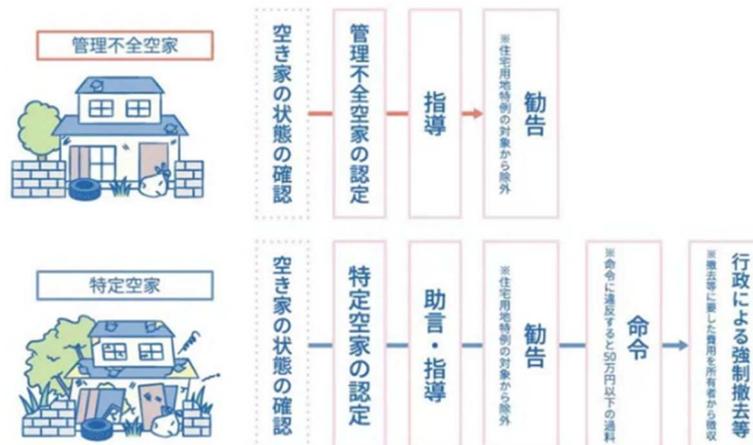
(前年度当初予算額) 496 千円

【目的】

2026 年度から第 2 次東浦町空家等対策計画に基づき、空家等の発生予防に加え、適正な管理や利活用に関する対策を進めることで、空家等の増加を抑制します。

【事業内容】

- ▶ 適切な管理が行われていない空き家（管理不全空家等）は法的措置を進めるほか、老朽化による空き家等で危険性が高いものには緊急安全措置を実施します。また、事業者リストを提供するなど適切な管理支援を進めます。
- ▶ 利活用の取組みとして、空き家利用希望者を登録する「東浦町さかだちバンク」などを活用します。相談窓口では、各種専門家による無料相談会を実施します。
- ▶ 空き家化を防ぐための講演会や説明会で事前対策の重要性を周知します。



出典:政府広報オンライン

▶ 危険な空き家の解体費補助制度

- ・ 対象者
倒壊や建築材飛散などのおそれがある危険な空き家の解体工事を行う方
- ・ 補助金の額
補助対象工事に要する経費の5分の4の額または、20 万円のいずれか少ない額

【予算事業名】

8 款 6 項 1 目 住宅一般管理費

【目標値の設定】

空き家数	現在値(2022年) 402件	伸び率を半減	2030年 450件
空き家の利活用件数	目標値(2023年) 5件	実績値 3件	2030年までに新たに5件
管理不全空家等の件数	現在値(2025年) 7件	3件減らす	2030年までに4件とする

まちのグランドデザインとなる都市計画道路を作ります

インフラ整備部 建設企画課

196,183 千円

(前年度当初予算額) 191,020 千円

【目的】

道路ネットワークの強化を図ることで渋滞を解消するとともに、産業の活性化や災害時などの緊急輸送道路も確保します。

【事業内容】

養父森岡線始め5路線

事業内容	調査測量設計業務委託、道路用地購入、公共施設管理者負担金		
場 所	森岡字南陽二区地内始め	路線概要	整備延長 720m_道路幅員 16m
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)東浦森岡南部土地区画整理事業の進捗に合わせて整備を進めます。また、関連する(都)森岡中町線・(都)山ノ手線・(都)塩田線、(都)大府半田線の整備も同時に進めます。 ・土地区画整理事業地内の都市計画道路用地については、用地創出の代わりに施行者に用地取得に係る費用を負担します。 		

緒川南北線

事業内容	道路用地購入、物件移転補償、街路新設工事		
場 所	緒川字北新田地内	路線概要	整備延長 160m_道路幅員 20m
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・町道緒川 40 号線より北側の未整備区間は、2014 年度から事業着手していませんが、すべての用地が取得できていないため、事業完了に至っていません。 ・今年度に一部の用地の取得見込みが立ったため、用地取得や修正設計を進め、2028 年度の暫定供用を目標に事業促進を図ります。 		

藤江線

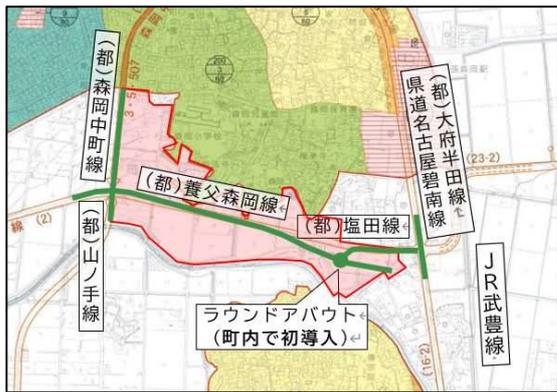
事業内容	調査測量設計業務委託、道路用地購入、物件移転補償		
場 所	藤江字上廻間地内始め	路線概要	整備延長 600m_道路幅員 23m
備 考	<p>主要地方道東浦名古屋線から一般国道 366 号バイパスを結ぶ補助幹線道路であり、本町南部における東西方向の交通機能不足による渋滞の解消のため、一般国道 366 号から一般国道 366 号バイパスまでの、未整備区間の用地取得を進めています。</p>		

【予算事業名】

8 款 2 項 3 目 都市計画道路整備事業費

4. 生活・産業を支える基盤づくり

養父森岡線始め5路線

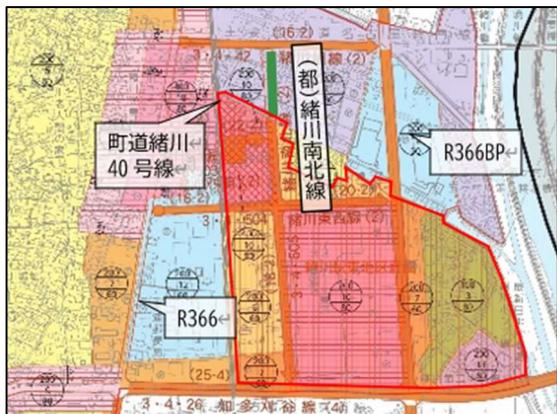


(仮称)東浦森岡南部土地区画整理事業

森岡南陽交差点から東側を望む



緒川南北線

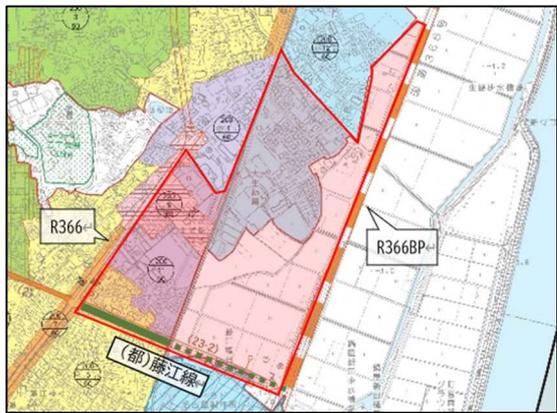


緒川駅東土地区画整理事業(2015完了)

町道緒川40号線から北側を望む



藤江線



東浦駅周辺基本構想(2016)

国道366号を挟み、西側から東側を望む



道を広げて緊急車両が円滑に通行できるようにします

インフラ整備部 建設企画課

97,861 千円

(前年度当初予算額) 78,955 千円

【目的】

建物の建て替え等の際に後退用地を確保し、道路整備をすることで、緊急車両の円滑な通行を確保します。

【事業内容】

後退用地整備事業

事業内容	建物の建替え等の際に、道路用地を確保するとともに、整備を実施します。
場所	東浦町全域 28 件/年
備考	・28 件/年は、2022 年度から 2024 年度の 3 年間の実績の平均値となります。 ・2022 年度：32 件、2023 年度：27 件、2024 年度：24 件_平均 28 件

【予算事業名】

8 款 2 項 2 目 道路用地先行取得事業費

●整備前

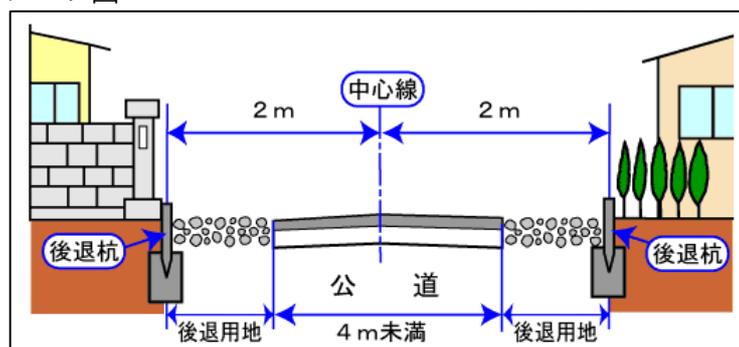


●整備後



⇒

●後退用地のイメージ図



暮らしに寄り添う、安全で快適な生活道路を作ります

インフラ整備部 建設企画課

386,847 千円

(前年度当初予算額) 373,088 千円

【目的】

歩行者、自転車の安全な通行や緊急車両の円滑な通行を確保するとともに、道路の段差を解消するなど人にやさしい道路整備を進めます。

【事業内容】

吉田線

事業内容	調査設計業務委託、道路用地購入、道路改良工事		
場 所	森岡字岡田地内始め	路線概要	整備延長 250m 道路幅員 12m
備 考	2026 年度に保育園用地を購入し、2027 年度の完成を予定しています。		

養父森岡線始め 2 路線

事業内容	道路改良工事		
場 所	緒川字笠松地内	路線概要	整備延長 100m 道路幅員 8 m
備 考	緒川小学校から緒川保育園の区間（町道養父森岡線から町道緒川 159 号線）において、狭い歩道が続いていることから、児童・生徒が車道にはみ出して通学しているため、歩道を片側に集約し、安心・安全な通学路にします。		

長寿命化修繕事業（舗装・橋梁）

事業内容	舗装修繕調査・工事、橋梁修繕調査設計・工事		
場 所	森岡字上半之木地内始め	路線概要	計画延長 655m
備 考	長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を進めます。		

【県事業】名古屋半田線

事業内容	道路用地購入、物件移転補償		
場 所	緒川肥後原地内始め	路線概要	計画延長 1.2km
備 考	県の用地買収に合わせて、取付道路（町拡幅部分）等を買収します。（用地事務を町が実施し、負担金にて県が 100%負担）		

【予算事業名】

8 款 2 項 3 目 道路改良事業費

4. 生活・産業を支える基盤づくり

○通学路における交通安全対策(歩道設置)

吉田線



養父森岡線始め(緒川 159 号線)※写真は整備前



○長寿命化計画に基づく修繕(舗装)

修繕前



修繕前の近景



修繕後



○【県事業】名古屋半田線

緒川植山交差点付近から南側を望む



農業用施設を補修します

インフラ整備部 土木管理課
17,274 千円
(前年度当初予算額) 47,956 千円

【目的】

農業に必要な施設の維持管理を行い、農業基盤の安定を図ります。

【事業内容】

1 農業用施設修繕工事

事業内容	農道の路面補修、排水路の補修等を行います。
場 所	東浦町全域
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

2 農業用施設管理工事

事業内容	排水路の浚渫、雑木の伐採等を行います。
場 所	東浦町全域
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

3 単独土地改良工事

事業内容	農業用施設の修繕を行います。
場 所	緒川昭和地区
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

【予算事業名】

6 款 2 項 1 目 農業用施設維持管理事業費

ため池の機能を守ります

インフラ整備部 土木管理課
 45,601 千円
 (前年度当初予算額) 20,020 千円

【目的】

老朽化している施設の修繕及び維持管理を行い、災害を未然に防止し、ため池の適正な維持管理を図ります。

【事業内容】

1 工事

単独土地改良工事

事業内容	ため池施設の修繕を行います。
場 所	緒川新池（大草池）、宮ノ池
工事期間（予定）	2026年4月～2027年3月

2 負担金

老朽ため池等整備事業負担金

事業内容	ため池の耐震化や洪水吐の改修工事に係る県事業の負担金
場 所	緒川新田雁狭間池、緒川馬池、緒川新田本坪池・生路泉ヶ池
工事期間（予定）	2026年4月～2027年3月

【予算事業名】

6款2項1目 ため池保全事業費

農業用排水機場の機能を維持します

インフラ整備部 土木管理課

72,027 千円

(前年度当初予算額) 74,214 千円

【目的】

農地の湛水被害を防止するために、排水機場の機能低下の防止や機能回復を図ります。

【事業内容】

1 排水機場維持修繕工事

事業内容	排水機場の建屋の修繕、ポンプの運転に必要な補機類の修繕等を行います。
場 所	村木江川排水機場始め9 機場
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

2 農業用施設維持管理適正化工事

事業内容	原動駆動用エンジンの点検・整備を行います。
場 所	鍋屋新田排水機場
工事期間 (予定)	2026 年 10 月～2027 年 2 月

【予算事業名】

6 款 2 項 2 目 農業用排水機場維持管理事業費

安全な水を未来へつなぐ、水道施設を管理します

インフラ整備部 水循環管理課
 995,627 千円
 (前年度当初予算額) 927,600 千円

【目的】

水質の確保と水の安定供給を図るため水道管の更新や水道施設の計画的な維持管理を行います。

【事業内容】

1 配水支管布設替工事

事業内容	老朽管の布設替えを行います。
場所	緒川字東仙台地内
工事期間（予定）	2026年5月～2027年1月

2 配水本管布設替工事

事業内容	基幹管路や重要給水施設配水管の耐震化を行います。
場所	緒川字沙弥田地内始め
工事期間（予定）	2026年6月～2027年2月

3 配水管修繕工事

事業内容	漏水等の修繕を行います。
場所	東浦町全域
工事期間（予定）	2026年4月～2027年3月

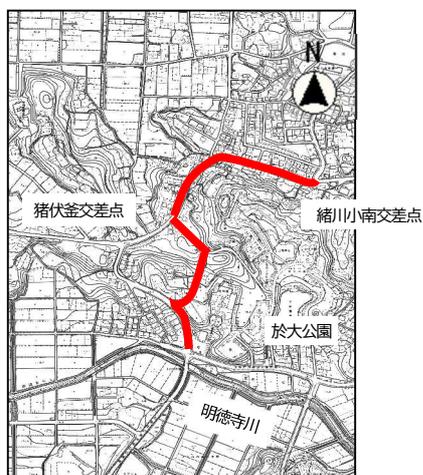
【予算事業名】

資本的支出 1款1項1目 配水設備新設改良費

収益的支出 1款1項1目 配水及び給水費



配水支管布設替工事



配水本管布設替工事

(新) 近隣市町と共同で汚水管の点検を行います

インフラ整備部 水循環管理課
1,629 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

清潔で快適な生活ができる住みよい環境のまちづくりや海や河川の水質向上を維持するため施設の点検を行い、公共下水道の持続的な機能確保及び防災・減災対策を推進します。

また、近隣市町と共同で事務を行うことで、技術者の不足等により増加している事務負担を軽減し、かつ、事務の効率化を図ります。

【事業内容】

公共下水道施設点検業務

事業内容	東海市、常滑市および阿久比町と共同で、既設汚水管の点検を行います。
場 所	緒川字東仙台地内
業務期間（予定）	2026 年 7 月～2029 年 3 月

【予算事業名】

収益的支出

1 款 1 項 1 目 管渠施設維持費

清潔・快適なまちを支える下水道(汚水)施設を管理します

インフラ整備部 水循環管理課
 200,576 千円
 (前年度当初予算額) 156,238 千円

【目的】

清潔で快適な生活ができる住みよい環境のまちづくりや海や河川の水質向上を維持するため、施設の点検及び修繕を行うとともに、公共下水道の持続的な機能確保及び防災・減災対策を推進します。

【事業内容】

1 公共下水道改良工事

事業内容	老朽管の布設替え、管きょ施設の耐震化を行います。
場 所	森岡字濁池地内、石浜字吹付地内始め
工事期間 (予定)	2026 年 7 月～2027 年 3 月

2 公共下水道施設点検業務

事業内容	既設汚水管の点検を行います。
場 所	東浦町全域
業務期間 (予定)	2026 年 7 月～2027 年 3 月

3 公共下水道維持修繕工事 (汚水) (小規模修繕工事)

事業内容	汚水マンホール、汚水管、取付管等の修繕等を行います。
場 所	東浦町全域
工事期間 (予定)	2026 年 4 月～2027 年 3 月

【予算事業名】

資本的支出

1 款 1 項 1 目 管渠建設改良費

収益的支出

1 款 1 項 1 目 管渠施設維持費



森岡地区拠点施設整備の基本計画を策定します

政策企画部 財政経営課

18,579 千円

(前年度当初予算額) 10,945 千円

【目的】

東浦町公共施設再配置計画の複合地区拠点施設のモデル事業として、児童・園児の学びの場や住民の「学び・交流の拠点」、防犯・防災性を備えた「安全・安心な拠点」を整備します。地区拠点機能を兼ね備えた、持続可能性を重視した適切な規模で運用できる複合施設として、地域への貢献を目指します。

【事業内要】

本計画は、東浦町公共施設再配置計画及び2025年度策定した基本構想に基づき、配置場所、ゾーニング、動線、建築、運営等のイメージをまとめ、概算費用、整備スケジュールを検討する基本計画を策定します。

事業実施時期（予定）

- ・2026年度 基本計画策定
- ・2034年度 供用開始



【導入機能(案)のイメージ】



出典：森岡地区拠点施設基本構想概要版

【予算事業名】

2款1項7目 施設マネジメント事業費

東浦中学校・東浦文化広場整備の基本計画を策定します

政策企画部 財政経営課
20,152千円
(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

東浦町公共施設再配置計画の複合全庁施設のモデル事業として、東浦中学校と東浦文化広場を複合化し、利便性向上、新たな価値提供、災害対応能力の向上を図ります。基本機能は中学校機能と生涯スポーツ機能、防災機能とし、地域連携や教育大綱の推進を実現する複合施設として、地域への貢献を目指します。

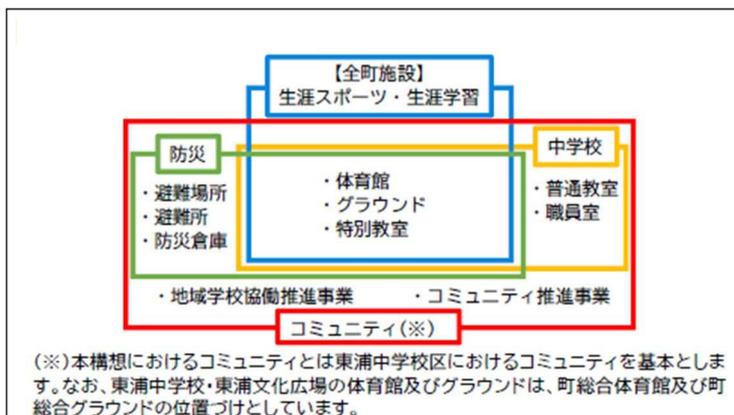
【事業内要】

本計画は、東浦町公共施設再配置計画及び2025年度策定した基本構想に基づき、配置場所、ゾーニング、動線、建築、運営等のイメージをまとめ、概算費用、整備スケジュールを検討する基本計画を策定します。

事業実施時期（予定）

- ・2026年度 基本計画策定
- ・2031年度 供用開始

【導入機能(案)のイメージ】



出典：東浦中学校・東浦文化広場基本構想概要版

【予算事業名】

2款1項7目 施設マネジメント事業費

ふるさと納税による支援の呼びかけを強化します

政策企画部 財政経営課

こども未来部 教育課

238,328 千円

(前年度当初予算額) 241,056 千円

【目的】

さまざまな施策を実施して、ふるさと納税により東浦町を支援していただく方を増やします。

【事業内容】

実施予定施策	内 容
<p style="text-align: center;">\ NEW /</p> <p style="text-align: center;">ふるさと納税で小中学校を応援</p> 	<p>東浦町ふるさと寄附金の使い道に、新たに東浦町内小中学校を応援するメニューを追加します。小中学校応援メニュー追加により、各小中学校が教育現場の状況に応じて使うことができる財源を確保して、児童生徒の学習環境の改善や教育活動の多様化を推進します。</p>
新しい返礼品の開拓	新たに返礼品を出品していただける事業者を探し、ふるさと納税の返礼品のラインナップを増やします。
返礼品提供事業者への個別訪問	既存の返礼品提供事業者との連絡を密に行い、新たな返礼品の出品、出荷個数を増やしてもらう取組みを行います。
ふるさと納税ポータルサイトの強化	ふるさと納税ポータルサイトを訪れた方が、ふるさと納税をしやすくなるように写真などを刷新します。
効果的な使い方の検討	ふるさと納税を使って行う事業に共感を持ってもらうことで、東浦町への支援につなげます。
さまざまな機会を捉えた PR	さまざまな方法、機会を捉えて、東浦町の魅力を発信するとともに、支援を呼びかけます。

【予算事業名】

2款1項4目 ふるさと寄附事業費



電力確保で災害時の安全・安心を確保します

総務部 行政課

2,860 千円

(前年度当初予算額) 0千円

【目的】

大規模災害により電力供給が途絶えた際、役場庁舎機能の維持に必要な電力量を確保するため、設置後年数が経過している非常用発電機を更新し、施設の耐災害性の強化を図ります。

【事業内容】

既存の非常用発電機2基のうち1基(1995年7月製)について、設置後、年数が経過していることに加え、新たな電力供給の必要性も見込まれるため、次の点を踏まえ更新します。

- ・既存の回路に、ユニットハウス、公用車（電気自動車）用充電スタンド、当直室、トイレ（西会議室、本庁舎）、サーバ室のコンセント等を追加し、容量を増加します。
- ・役場庁舎機能の維持だけでなく、移動式蓄電池や電動自動車を活用し、避難所へ電力を届けることによって、避難所の電力確保に努めます。

更新前		➔	更新後	
容量	連続稼働時間		容量(見込)	連続稼働時間
50KVA	6時間		150KVA	72時間

事業実施時期（予定）

2026年4月～2027年3月 設計

【予算事業名】

2款1項1目 庁舎管理費



今回更新対象 発電機

各種証明書のコンビニ交付がスタートします

総務部 行政課
住民課
税務課

13,534 千円

(前年度当初予算額) 19,289 千円

【目的】

コンビニ等で住民票など各種証明書の交付を行うことで、住民の利便性の向上を図ります。併せて、マイナンバーカードの利用促進を図ります。

【事業内容】

【事業内容】

自治体基盤クラウドサービスを利用し、コンビニ等に設置されているキオスク端末（マルチコピー機）から各種証明書を交付できるようシステムを運用します。

▶ 交付可能証明書

住民票、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書^(※)

1 対象者

東浦町に住民票があり、マイナンバーカードを取得している方

(※) 証明対象年度の1月1日に東浦町に住民登録があり、東浦町で課税されている方

2 事業実施時期（予定）

2026年3月～

3 その他

▶ コンビニ交付の利用促進のため、手数料の引き下げを行います。

・窓口交付 250円

・コンビニ交付

2026年3月～2027年2月 …10円

2027年3月以降 …100円

▶ 役場庁舎へのキオスク端末（マルチコピー機）を設置します。

【予算事業名】

2款1項1目 庁舎管理費

2款2項2目 賦課徴収事務費

2款3項1目 戸籍住民基本台帳費



マイナンバーカードを利用して証明書をコンビニで交付！

マイナンバーカードを交付・更新します

総務部 住民課

26,148 千円

(前年度当初予算額) 17,618 千円

【目的】

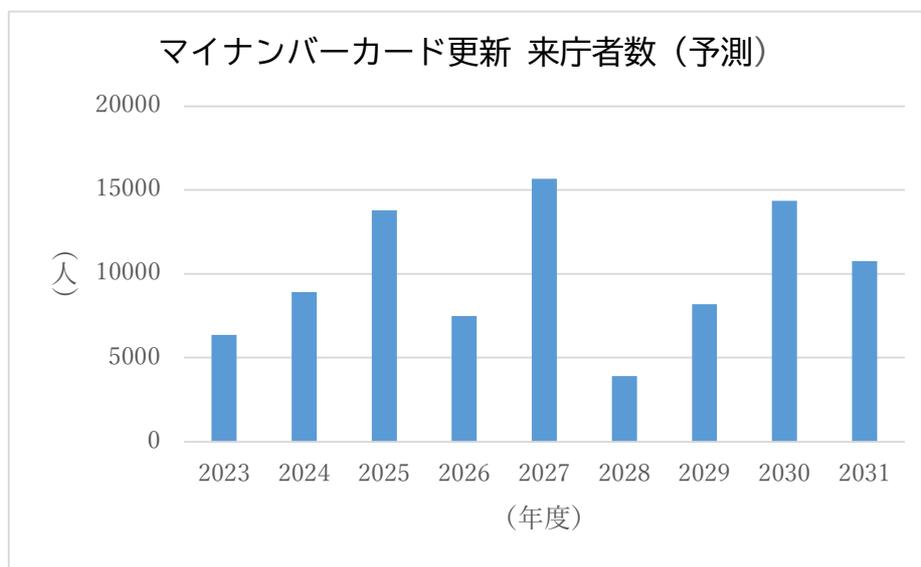
本人確認書類や個人番号を証明する書類として利用でき、また、住民票の写し等のコンビニ交付時に必要となるマイナンバーカードの交付・更新を行うことで、住民の利便性の向上を図ります。

【事業内容】

休日交付や産業まつりでの出張申請で、マイナンバーカードの新規交付を奨励します。これまでにカードを取得した方が、今後 10 年に 1 回のマイナンバーカード本体、5 年に 1 回の電子証明書の更新時期を迎えていくことから、マイナンバーカードの更新のため交付環境の整備を行います。

【予算事業名】

2 款 3 項 1 目 戸籍住民基本台帳費



※2023 年度、2024 年度は実績値

(新) 預貯金照会業務をオンライン化します

総務部 税務課

1,377 千円

(前年度当初予算額) 33 千円

【目的】

滞納金を徴収するために実施する預貯金調査をオンライン化することで、滞納処分の効率を向上させます。

【事業内容】

預貯金調査は現在、紙媒体で行っており、金融機関へ預貯金照会を依頼してから回答が来るまで1か月以上かかっています。システムを導入してオンライン化することで調査に要する期間を数日に短縮し、滞納処分の効率を向上させます。

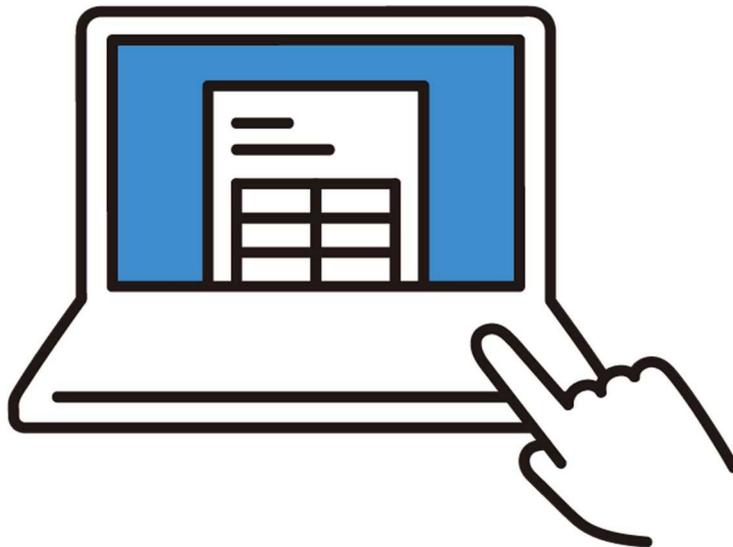
また、オンライン化することで紙資源の節約に寄与します。

事業開始時期 (予定)

2026年4月～

【予算事業名】

2款2項2目 賦課徴収事務費



路線価の見直し等により適正な賦課を行います

総務部 税務課

7,381 千円

(2026 年度までの債務負担行為限度額) 17,666 千円

(前年度当初予算額) 8,503 千円

【目的】

3年に1回の固定資産の評価替え（次回2027年度）に伴い、土地の評価に使用する路線価の見直し等を行い適正な賦課を行います。

【事業内容】

土地の評価に使用する路線価の見直し等を行います。

【予算事業名】

2款2項2目 賦課徴収事務費

地域のみなさんと気軽に話し合える場をつくります

地域創造部 住民自治課
588 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

町（まち）は住民と行政が一体となって築き上げていくものです。そのため、住民と東浦町長始め東浦町職員が、地域の課題や今後を話し合い、地区の発展に向けた連携や想いを共有する機会をつくります。

【事業内容】

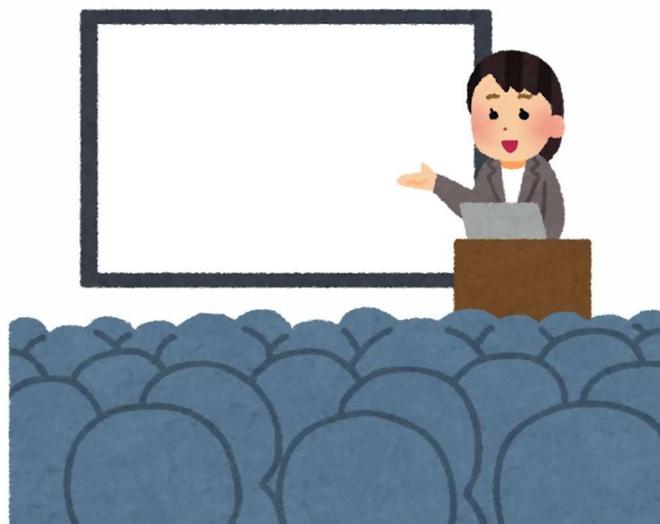
東浦町と各地区が相互に声を掛け合い、住民が気軽に参加できるざっくばらんな話し合いができる仕組みを作ります。

▶ 想定例

- ・開催を希望する地区とざっくばらんな会を開催
- ・各地区コミュニティなど様々な団体の行事に東浦町長始め東浦町職員が参加し意見交換
- ・地区代表者が集まる場での課題の共有

【予算事業名】

2 款 1 項 1 目 人件費



住民とアジアを始めとした世界各国の方との交流を行います

政策企画部 政策課
こども未来部 教育課
地域創造部 住民自治課
1,020 千円
(前年度当初予算額) 958 千円

【目的】

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を契機に、各国への理解や興味関心を深め、世界各国との交流を推進します。

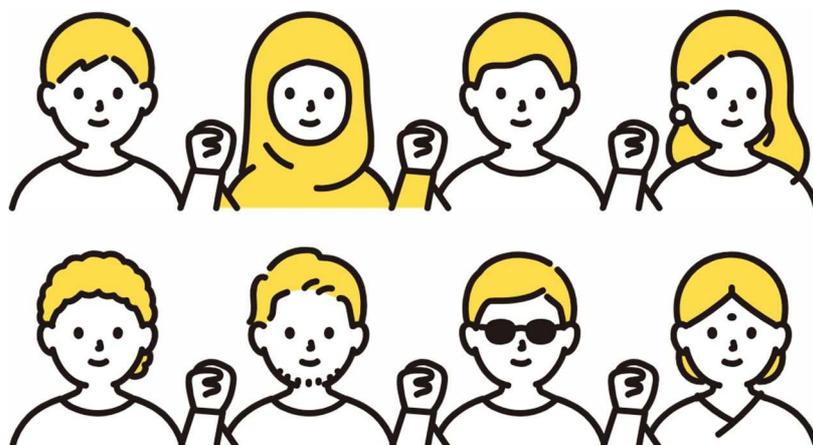
【事業内容】

日本語教室や交流イベント等、住民と世界各国の人々とのふれあいの機会をつくりま

- ▶ 日本語教室
- ▶ こどもにほんご教室
- ▶ 産業まつり出展
- ▶ 多文化共生講座
- ▶ 外国人コミュニティとの連携
- ▶ 食でつなぐ世界の料理教室
- ▶ 在名古屋外国領事館等と東浦町内小中学校との交流

【予算事業名】

2款1項7目 多文化共生事業費



(新) キャッシュレス決済を導入します

会計課
1,870 千円
(前年度当初予算額) 0 千円

【目的】

証明書手数料等の支払いにキャッシュレス決済を導入することで、住民の利便性向上を図ります。

【事業内容】

1 キャッシュレス決済端末設置課等

モバイル型端末（5台）

…住民課、税務課、環境課、行政課、行政サービスコーナー（イオンモール東浦2階）

2 キャッシュレス決済対象

住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書、課税・非課税証明書、納税証明書、刊行物、地図等

3 事業実施時期（予定）

2026年10月～

【予算事業名】

2款1項5目 会計一般管理費



キャッシュレス決済イメージ